

# Chat

コンソールガイド

製品ドキュメント



Tencent Cloud

## Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

## Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

## Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

## カタログ：

### コンソールガイド

#### New Console Introduction

アプリケーションの作成とアップグレード

基本設定

機能設定

アカウント管理

グループ管理

コールバック設定

監視ダッシュボード

補助ツールの開発

アクセス管理

サブアカウントへのコンソール操作権限の付与

プリセットポリシー

カスタムポリシー

# コンソールガイド

## New Console Introduction

最終更新日：：2024-12-06 16:51:36

This document introduces the operational guide for the new Chat Console to help you quickly understand the usage method of the new Chat Console and ensure a smooth transition.

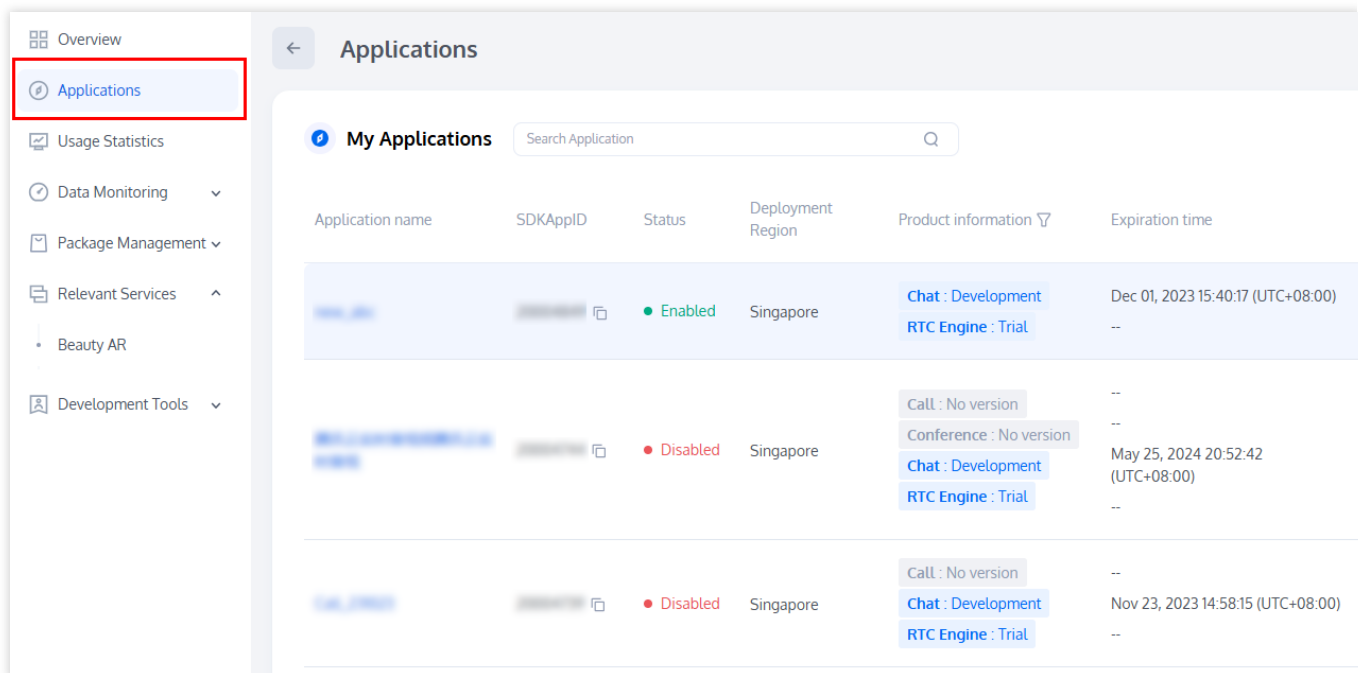
### Note:

1. The new Chat Console retains the account system and CAM authentication capabilities of the Tencent Cloud official website, allowing you to log in with your original account and manage your Chat resources.
2. The new Chat Console supports multiple languages, including English, Chinese, Japanese, and Korean. If you encounter any issues during use, please [Contact Us](#).

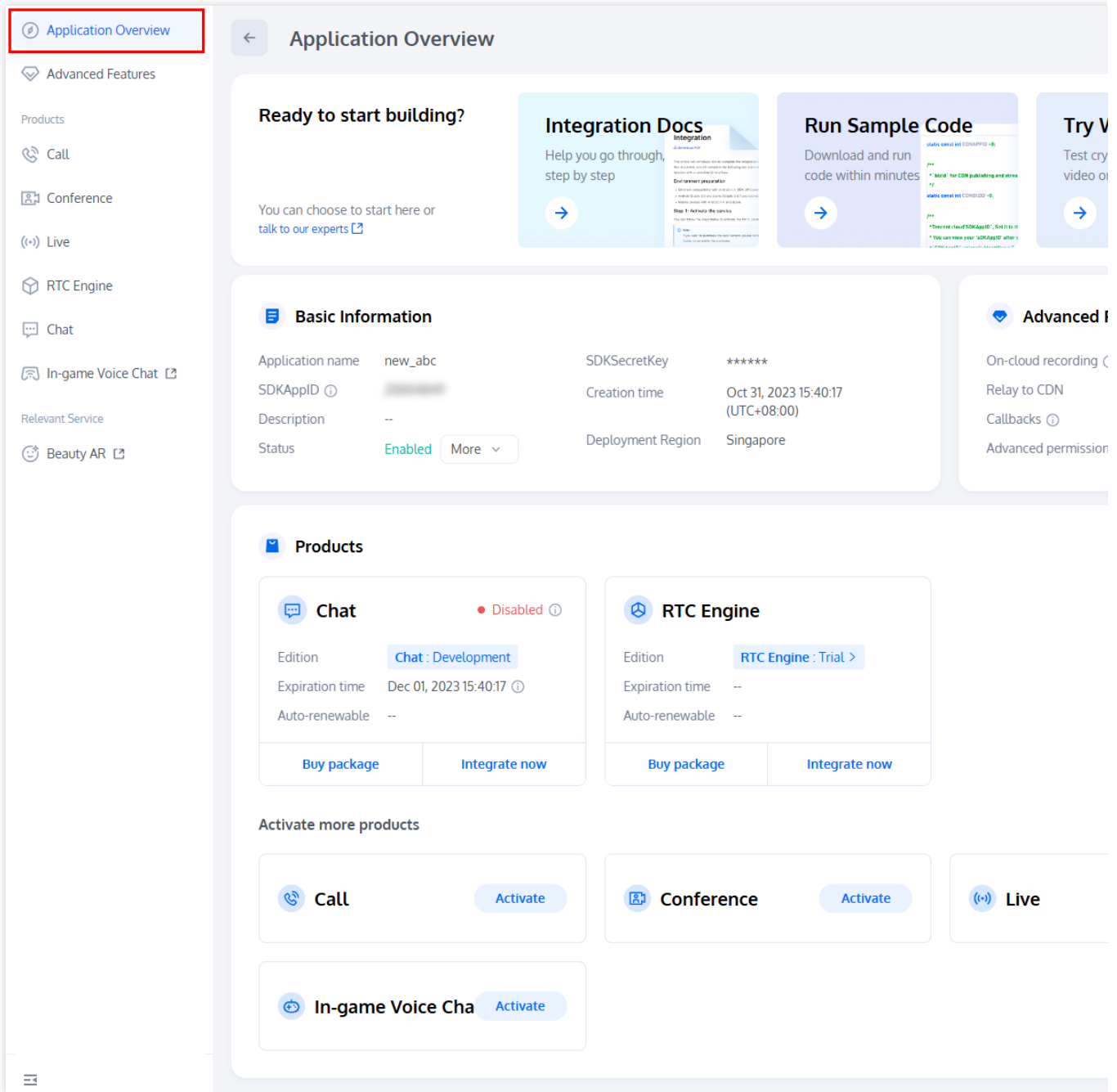
## New Console Interface Introduction

To make it easier for you to understand the capabilities of an activated application, we have placed the Chat feature within each application for management.

1. Log in to the [Chat Console](#), select the application you want to manage Chat for, and go to [Application Management](#).



2. On the Application Management page, you can overview the application's status, including basic information, advanced features, and activated capabilities.



3. Click **Chat** on the left navigation bar to access [Chat feature management](#). The three main management modules of the previous console: **Management, Plugin, and Tools**, are all displayed here.

**Management:** Overview, Account Management, Group Management, Feature Configuration, Callback Configuration, and Data Statistics.

**Plugin:** Push and Plugin Marketplace.

**Tools:** Real-time Monitoring, Development tools, and Integration Guide.

The screenshot displays the Tencent Cloud Chat console interface. On the left is a navigation sidebar with categories like 'Application Overview', 'Advanced Features', 'Products', and 'RTC Engine'. The 'Chat' option is highlighted with a red box. The main content area is titled 'Overview' and includes links for 'Current data center: Singapore', 'Telegram group', and 'WhatsApp group'. It features a 'Basic Information' section with details on Edition (Free Trial), Service status (Disabled), and SDKAppID. Below this is a 'Data Overview' section for the period ending 2024-12-04 16:37:07, showing MAU as 0 and Yesterday's Total Users as 1. The bottom section, 'Experience Core Features & Preview UI', shows a chat interface preview with participants Stanley, Call Robot, Rosa, and Developer Group, and a call button in the top right corner.

# アプリケーションの作成とアップグレード

最終更新日：2024-04-11 17:34:16

## 操作シナリオ

ここでは、Instant Messaging (IM) コンソールで体験版アプリケーションを作成してSDKAppIDを取得する方法と、体験版アプリケーションをプロフェッショナル版アプリケーションにアップグレードする方法についてご説明いたします。

## 前提条件

Tencent Cloudアカウントの登録を行い、[実名認証](#)が完了済みであること。

## 体験版アプリケーションの作成

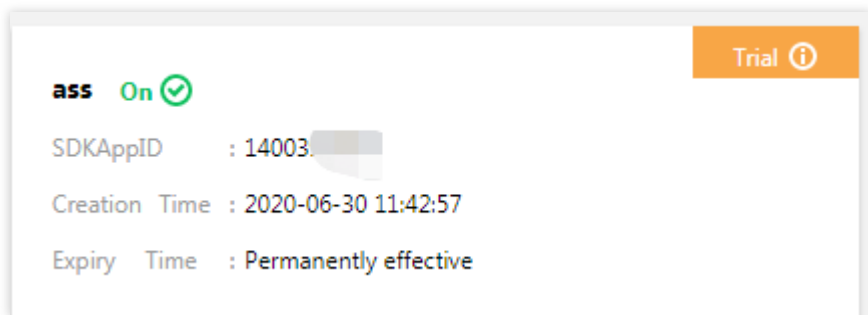
1. [IMコンソール](#)にログインします。
2. [+新しいアプリケーションの作成](#)をクリックします。
3. [アプリケーションの作成](#)ダイアログボックスにアプリケーション名を入力し、[確定](#)をクリックします。

作成が完了すると、コンソールの概要ページで、作成したアプリケーションのステータス、サービスバージョン、SDKAppID、作成時間、有効期限を確認できます。

### 説明：

新規作成したアプリケーションのサービスバージョンは、デフォルトでは体験版になっており、デフォルトで有効の状態になっています。

同じTencent Cloudのアカウントで、最大300個のIMアプリケーションを作成することができます。すでにアプリケーションが300個ある場合は、使用する必要のないアプリケーションを[使用停止して削除](#)すると、新しいアプリケーションを作成することができます。アプリケーションを削除した後、そのSDKAppIDに対応するすべてのデータとサービスは失われます。慎重に操作を行ってください。



## アプリケーションのアップグレード

### 説明：

パッケージを使用してアプリケーションを体験版からプロフェッショナル版またはフラッグシップ版にアップグレードできますが、アップグレード後に体験版にダウングレードすることはできません。支払いの遅延または返金によりアプリケーションが一時停止された後、元のアプリケーションを引き続き使用する必要がある場合は、プロフェッショナル版またはフラッグシップ版のパッケージのリニューアルを行うことができます。体験版を再度ご利用になりたい場合は、[新しいアプリケーションの作成](#)を行ってください。

1. ターゲットアプリケーションカードエリアの**アップグレード可能な項目の表示**をクリックして、アップグレード可能な項目を表示、比較します。



## Compare Upgradeable Items

Item	Current Spec	After Upgrade to Pro	After Upgrade to A
Max Users	Unlimited	Unlimited	Unlimited
Max Friends	20	3000 ↑	3000 ↑
Max Groups One Can Join	50	Can increase to 1000 ↑	Can increase to 3000 ↑
Max Audio-Video Groups	10	Can increase to Unlimited ↑	Unlimited ↑
Max Members per Audio-Video Group	Unlimited	Unlimited	Unlimited
Max Members per Non-Audio-Video Group	20	Can increase to 2000 ↑	Can increase to 6000 ↑
Free Peak Groups	100 groups/month	100000 groups/month ↑	100000 groups/month
Free Peak DAU	100	10000 ↑	10000 ↑
Historical Message Storage	7 days	Can increase to 360 days ↑ ⓘ	Can increase to 360 days ↑ *It costs less than edition.
Content Filtering	Basic	Can increase to Advanced ↑	Can increase to A ↑

2. アップグレード項目の比較ウィンドウの下にあるパッケージのアップグレードをクリックして、インスタントメッセージング用のIMパッケージ購入ページに進みます。

3. 必要に応じて、次のパラメータを設定します。

パラメータ項目	説明
アクティブにするパッケージの SDKAppID の選択	SDKAppID が正しいかどうか確認してください。購入後は変更できません。
パッケージの選択	SDKAppID が体験版の場合、プロフェッショナル版またはフラグシップ版を選択できますが、機能パッケージの個別購入はサポートされていません。 SDKAppID がプロフェッショナル版またはフラグシップ版の場合、機能パッケージの個別購入のみがサポートされています。
オプションの付加価値機能	ユーザー1人あたりが参加できるグループの上限数、グループ1つあたりのメンバーの上限数（非ライブストリーミンググループ）、セキュリティ対策サービスプレミアム版、メッセージ履歴の保存期

	間の延長など、実際のニーズに応じて付加価値を選択してください。
購入時間	パッケージは月単位で購入し、その期間は1か月～2年の間から選択できます。必要に応じて、アカウント残高が十分な場合、パッケージの有効期限が切れると毎月自動更新にチェックを入れることもできます。

### Upgrade Reminder ×

Pro  Flagship

Unlimited Audio-Video Groups

Max Groups per User

Max Members per Group (Non-Audio-Video)

**Note**

- Free of charge for the month you activate Unlimited Audio-Video Groups. For example, if you activate the feature on February 15, you will be charged from March 1 and receive your bills on April 1.
- You can modify the standard billing plan and value-added service plan only once per month.

**Confirm**

### Upgrade ✕

The estimated cost after modification is as below. The configuration will take effect within 5 minutes after your confirmation.

#### Fees Information

Pro **Selected : Activate**  USD/month

Unlimited Audio-Video Groups **Selected : Deactivate**

Content Filtering **Selected : Deactivate**

Max Groups per User **Selected : 500**

Max Members per Group (Non-Audio-Video) **Selected : 200**

Total:  USD/month

- 私は、《[Tencent Cloud Instant Messaging \(IM\) のサービスレベル契約](#)》を読み、同意しましたにチェックを入れ、**今すぐ購入**をクリックします。
- 選択した情報を確認し、クーポンを使用するかどうかを選択し、**購入の確認**をクリックすると、支払いの手続きは完了します。

# 基本設定

最終更新日：：2024-04-11 17:34:49

[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、アプリケーションの基本設定ページに進みます。実際の業務ニーズに応じて、アプリケーションの基本設定を管理することができます。

## アプリケーションパッケージ情報

### Standard Billing Plan

Status	<a href="#">In use</a> <a href="#">Deactivate</a>
Plan	Pro
Expiration Time	-

[Modify Feature Configuration](#)

アプリケーションパッケージエリアでは、アプリケーションの現在のサービスパッケージ情報を確認し、次の操作を行うことができます。

- このアプリケーションのパッケージをアップグレードします。
- このアプリケーションを使用停止/削除します。

### パッケージのアップグレード

アプリケーションパッケージエリアの**パッケージのアップグレード**をクリックすると、アプリケーションのサービスパッケージのバージョンや設定をアップグレードすることができます。具体的な操作については、[アプリケーションのアップグレード](#)をご参照ください。

### アプリケーションの使用停止/削除

説明：

同じTencent Cloudのアカウントで、最大300個のIMアプリケーションを作成することができます。すでにアプリケーションが300個ある場合は、必要のないアプリケーションを先に使用停止して削除すると、新しいアプリケーションを作成することができます。

ステータスが使用停止のアプリケーションのみ、削除できます。アプリケーションを削除すると、その SDKAppID に対応するすべてのデータとサービスが失われます。慎重に操作を行ってください。

### 体験版アプリケーション

- 手動で使用停止にできます。

基本情報エリアで、状態の右側にある **使用停止** をクリックし、ポップアップ表示されたダイアログボックスで **OK** をクリックすると使用停止になります。

- 手動で削除できます。

基本情報エリアで、状態の右側にある **削除** をクリックし、ポップアップ表示されたダイアログボックスで **OK** をクリックすると削除されます。

### プロフェッショナル版/フラッグシップ版

- 料金の支払いが7日遅れるとステータスが自動的に **使用停止** になります。削除が必要な場合は、[お問い合わせ](#) ください。
- 返金後は **期限切れ** 状態になり、7日後には **使用停止** 状態になります。削除する必要がある場合は、[お問い合わせ](#) ください。

### TRTC体験版

TRTC側でアプリケーションを使用停止した後、[お問い合わせ](#) から、このアプリケーションを使用停止して削除することができます。

## アプリケーションプロファイルの設定

### Basic Info Edit

SDKAppID	1400 [redacted]
Status	On
Application Name	ass
Application Type	Other
Key	***** <a href="#">Display key</a>
Key information is sensitive. Keep it confidential and do not disclose it.	
Creation Time	2020-06-30 11:42:57
Last Modified	2020-06-30 11:42:57
Application Intro	--

アプリケーションプロファイルエリアでは、次の操作を行うことができます。

アプリケーション名、アプリケーションタイプ、アプリケーションの説明など、このアプリケーションの基本情報を編集します。

### 基本情報の編集

1. **アプリケーション情報**の右側の**編集**をクリックして、アプリケーション設定の編集状態に入ります。
2. **アプリケーション名**、**アプリケーションタイプ**および**アプリケーションの説明**を変更することができます。
3. **保存**をクリックします。

## 基本情報の設定

### Basic Information

Key	***** <a href="#">Display key</a> Key information is sensitive. Keep it confidential and do not disclose it.
Creation Time	2021-07-12
Last Modified	2021-07-26

基本情報エリアでは、次の操作を行うことができます。

このアプリケーションのキーを取得します。

### キーの取得

キー情報はセンシティブな情報ですので、適切に機密を保持し、漏えいしないようご注意ください。2019年8月15日より前に作成されたアプリケーション(SDKAppID)は、デフォルトで公開鍵と秘密鍵を区別する [ECDSA-SHA256](#) 署名アルゴリズムを使用しますので、HMAC-SHA256署名アルゴリズムへのアップグレードを選択することができます。アップグレードプロセスは、既存のネットワークサービスには影響を与えません。

1. キーの右側にある [キーの表示](#) をクリックします。
2. [コピー](#) をクリックすると、キー情報をコピーして保存できます。

キーはUserSigの生成に使用することができます。詳細な操作については、[UserSigの生成](#) をご参照ください。

## アカウント管理者の設定

アカウント管理者は、REST APIインターフェースの呼び出し、グループの解散、その他の機能に使用することができます。お客様は、システムのデフォルトのアカウント管理者 `administrator` を直接使用したり、アカウント管理者を手動で追加したりすることもできます。各アプリケーションには5個のアカウント管理者をサポート

しています。

**Account Administrator** [Add Admin](#)

Username	Operation
administrator	<a href="#">Delete</a>

Used to invoke the RESTful API or disbanding groups. For more information, see [here](#).

## 管理者の追加

1. アカウント管理者の右側にある**管理者の追加**をクリックします。
2. ポップアップ表示された管理者の追加ダイアログボックスに、管理者アカウント名を入力します。
3. **追加**をクリックします。

## 管理者の削除

1. 削除する管理者の右側に対応する**削除**操作をクリックします。
2. ポップアップした確認ボックスで、**OK**をクリックします。

## オフラインプッシュ証明書の管理

### オフラインプッシュ証明書の追加

1. 対応するプラットフォームのプッシュ設定エリアで**証明書の追加**をクリックします。
2. ポップアップ表示された証明書の追加ダイアログボックスに従って、関連パラメータを設定します。



- Android証明書の追加

### Add Android Certificate ✕

Push Platform  Xiaomi  Huawei  Google  Meizu  Vivo  
 OPPO

SDKAppID\*

APPID\*

AppSecret\*

Response after Click  Open Application  Open webpage  
 Open specified in-app page

*\*Note: The Xiaomi onNotificationMessageClicked method is called back. Apps can be opened using this method.*

- iOS証明書の追加

### Add iOS Certificate ✕

Certificate Type  Official environment  Development Environment

iOS certificate (.p12)  [How to generate a certificate](#)

Certificate password\*

3. **確定**をクリックして設定を保存します。

## オフラインプッシュ証明書の編集

1. 既存の証明書エリアの**編集**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたダイアログボックスで関連パラメータを変更し、**確定**をクリックして設定を保存します。

## オフラインプッシュ証明書の削除

注意：

証明書を削除すると、プッシュメッセージは到達できなくなり、削除後はデータを復元できなくなりますので、慎重に操作を行ってください。

1. 既存の証明書エリアの**削除**をクリックします。
2. ポップアップ表示された証明書の削除確認において、**確定**をクリックします。

## タグ設定

### タグ編集

1. タグ設定の右側にある**編集**をクリックして、タグ編集ポップアップウィンドウに入ります。
2. タグ編集ウィンドウでは、既存のリソースのタグを追加または削除できます。

**Edit Tags** [X]

The tag is used to manage resources by category from different dimensions. If the existing tag does not meet your requirements, please go to [Manage Tags](#)

1 resource selected

Tag key [v] Tag value [v] [X]

+ Add

OK Cancel

## TRTCサービスのアクティブ化

現在のIMアプリケーションに、音声通話、ビデオ通話、ILVBなどの機能が必要な場合、またはIM SDKとTRTC SDKを同時に統合する必要がある場合は、**TRTCサービスのアクティブ化**エリアで **TRTCサービス**をアクティブにすると、システムは**TRTCコンソール**の現在のIMアプリケーションと同じSDKAppIDを使用してTRTCアプリケーションを作成します。2つのアカウントと認証は再利用できます。

1. **TRTCサービスのアクティブ化**エリアで**今すぐアクティブにする**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたTRTCサービスのアクティブ化のダイアログボックスで、**確定**をクリックします。

# 機能設定

最終更新日：：2024-04-11 17:35:12

## ログインとメッセージ

[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで**機能設定**>**ログインとメッセージ**を選択すると、実際の業務応じて、ログインとメッセージに関する設定を管理することができます。

### ログインの設定

1. **ログインとメッセージ**ページで、**ログイン設定**の右側にある**編集**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたログイン設定ダイアログボックスでマルチ端末ログインタイプを選択し、**Web**端末および他のプラットフォームインスタンスの同時オンラインの数を設定します。

#### 説明：

Ultimate版で複数プラットフォームでのログインを選択した場合、**Web**端末では、同時にオンラインできるデバイスは最大10台までです。Android、iPhone、iPad、Windows、Mac、Linuxの各プラットフォームでは、同時にオンラインにできるデバイスは最大3台までです。

### Login settings

Multi-device Login Type

**Single-device login** allows single-device login across web, Windows, Android, and iOS devices.

**Dual-device login** allows single-device login across Windows, Android, or iOS, simultaneous online on a web browser.

**Triple-device login** allows single-device login across Android and iOS, plus simultaneous online on both Windows devices and web browser.

**Multi-device online** allows users to stay online simultaneously on web, Windows, and iOS devices.

Online Web Instances

3. **OK**をクリックして設定を保存します。

### メッセージ履歴の保存期間の設定

メッセージ履歴はデフォルトで7日間保存されます。メッセージ履歴の保存期間の延長は、付加価値サービスです。具体的な料金に関する説明については、[課金説明](#)をご参照ください。設定を変更できるのは、暦月につき1回のみです。

- ログインとメッセージページで、メッセージ履歴の保存期間の設定の右側にある**編集**をクリックします。
- ポップアップ表示されたメッセージ履歴の保存期間のダイアログボックスで、メッセージ履歴の保存期間の延長を設定します。
- OK**をクリックして設定を保存すると、その設定はただちに有効になります。

### メッセージ取り消しの設定

- ログインとメッセージページで、メッセージ取り消しの設定の右側にある**編集**をクリックします。
- ポップアップ表示されたメッセージ取り消しの設定ダイアログボックスで、メッセージを取り消せる時間の長さを設定します。
- OK**をクリックし、設定を保存します。

#### 説明：

この機能は、**Ultimate版**のユーザーのみ利用できます。Ultimate版でない場合、[Ultimate版を購入](#)した後に使用できます。詳細については、[料金説明](#)をご参照ください。機能が正常に使用できるよう、**端末SDKを5.9.0バージョン以降**に更新し、**WebSDKを2.16.0バージョン以降**に更新してください。

## 複数端末同期設定

ログインとメッセージページの**複数端末同期設定**エリアでセッション削除後に複数端末の同期を有効にするか無効にするかを選択できます。

有効：複数端末が同時にオンラインである場合に、セッションを削除すると、各端末が同期され、セッションの削除が同期されます。

無効：複数端末が同時にオンラインである場合に、単一端末のセッションを削除しても、他の端末は同期されません。デフォルトは無効となっています。

### 説明：

セッション削除後の複数端末同期は**端末SDK 5.1.1、Web SDK2.14.0およびそれ以上のバージョン**のみでサポートされ、低バージョンのユーザーが同期を有効にしたい場合は、**\*\*SDKバージョンをアップグレード\*\***してください。

## ユーザーステータスのクエリーとステータス変更の通知の設定

ログインとメッセージページの**ユーザーステータスのクエリーとステータス変更の通知の設定**エリアで、ユーザーステータスのクエリーとステータス変更の通知のスイッチを有効にすることができます。

### 説明：

ユーザーステータスのクエリーとステータス変更の通知は、デフォルトでは無効になっており、現時点では、クライアントはユーザーステータスのクエリー/サブスクリプション/アンサブスクリプション時にエラーコード72001を受け取ります。端末SDK 6.3およびそれ以降のバージョンをサポートします。この機能は、フラグシップバージョンでのみサポートされています。[アップグレードをクリック](#)できます。

## メッセージ拡張設定

ログインとメッセージページの**メッセージ拡張設定**エリアで、機能スイッチを有効にすることができます。

### 説明：

メッセージ拡張により、メッセージにkey/valueステータス識別子を追加できます。この機能に基づいて、投票、ソリティア、アンケートなどの機能を実装できます。詳細については、[機能ドキュメント](#)をご参照ください。この機能は、フラグシップバージョンのお客様のみに開放されており、端末SDK 6.7.3184およびそれ以降の拡張バージョンのみをサポートしています。以前のバージョンのユーザーは、SDKバージョンをアップグレードしてください。

## 全員プッシュ設定

ログインとメッセージページの**全員プッシュ設定**エリアで、機能スイッチを有効にすることができます。

### 説明：

全員プッシュは、ユーザー操作の強力なツールです。全員が特定のコンテンツを送信することをサポートするだけでなく、タグと属性に基づいて特定のユーザーグループにメンバーの活動、地域の通知などのパーソナライズされたコンテンツを送信することもできます。新規採用、変革、昇進などの各段階での運営の効果的な実施を促進します。詳細については、[全員プッシュ](#)をご参照ください。

## セッションリストのプル個数の設定

ログインとメッセージページで、**セッションリストのプル個数の設定**領域でクラウドからプルするセッション数を設定できます。クライアントはデフォルトでクラウドからセッションを100個プルでき、クラウドからセッションを最大500個プルするように設定できます。

### 説明：

セッションリストのプル個数の設定は**Ultimate版**でのみ使用できます。Ultimate版のユーザーでない場合は、アップグレードしてから使用してください。

セッションリストのプル個数の設定は**端末SDK 5.1.1、Web SDK 2.0**以降のバージョン\*\*のみをサポートします。古いバージョンのユーザーが設定する必要がある場合は、SDKバージョンをアップグレードしてください。

## ブラックリストチェック

ログインとメッセージページの**ブラックリストチェック**エリアで、メッセージの送信後に「メッセージを送信」の表示を有効または無効にできます。

有効：相手があなたのアカウントをブラックリストに追加している場合、相手にシングルチャットメッセージを送信すると、メッセージが正常に送信されたことを示す文言が表示されますが、実際には相手はそのメッセージを受信しません。デフォルトでは有効になっています。

無効：相手があなたのアカウントをブラックリストに追加している場合、相手にシングルチャットメッセージを送信すると、メッセージ送信が失敗したことを示す文言が表示されます。

## フレンドシップチェック

ログインとメッセージページの**フレンドシップチェック**エリアで、シングルチャット送信のリレーションシップチェーン確認のオンまたはオフを選択することができます。

有効：シングルチャットを開始する前にフレンドシップがチェックされ、フレンド間でのみシングルチャットメッセージの送信が許可されます。あなたの知らない人があなたにシングルチャットメッセージを送信した場合、SDKは**エラーコード20009**を受信します。

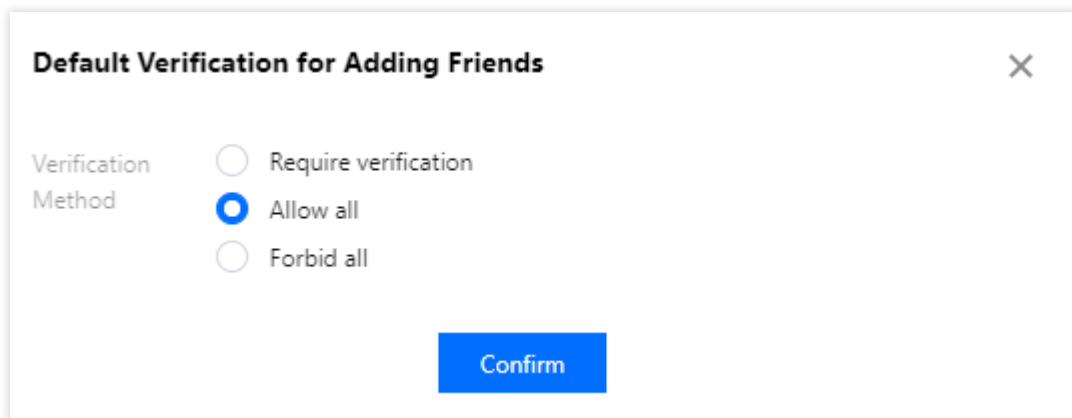
無効：シングルチャットを開始するときにフレンドシップをチェックしないため、ユーザーはフレンドや知らない人にもシングルチャットメッセージを送信できます。デフォルトでは無効になっています。

## フレンドとリレーションシップチェーン

フレンドを追加するための認証方法とフレンドカスタムフィールドを設定します。

### フレンド追加の認証方法の設定

1. **IMコンソール**にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックします。
2. 左側のナビゲーションバーで、**機能設定**>**フレンドとリレーションシップチェーン**を選択し、**デフォルトのフレンド確認方法の設定**ファンクションカードの右側にある**編集**をクリックします。



3. 適切な方法を選択し、**OK**をクリックして保存します。

## フレンドカスタムフィールド

### 説明：

最大20個のフレンドカスタムフィールドを追加することができます。このフィールドは、フィールド名とフィールドタイプの変更、削除には対応していません。業務上の必要性に応じてこのフィールドを適切にプランニングしてください。

1. [IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックします。
2. 左側ナビゲーションバーで**機能設定**>**フレンドとリレーションシップチェーン**を選択します。
3. **フレンドカスタムフィールド**ファンクションカードの右側にある**追加**をクリックします。
4. ポップアップ表示されたフレンドカスタムフィールドのダイアログボックスで、カスタムフィールド名を入力し、フィールドタイプを設定します。

### 説明：

フィールド名は必ずアルファベットにしてください。長さは8文字以下とします。

## ユーザーカスタムフィールド

[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで**機能設定**>**ユーザーカスタムフィールド**を選択すると、実際の業務に応じてユーザーカスタムフィールドを管理することができます。

### ご注意：

最大20個のユーザーカスタムフィールドを追加することができます。設定すると、これらのフィールドを削除したり、名前やタイプを変更したりすることはできません。業務上の必要に応じてこのフィールドを適切に計画してください。

### ユーザーカスタムフィールドの追加

1. **ユーザーカスタムフィールド**ページで、右側の**追加**ボタンをクリックします。



2. ポップアップ表示されたユーザーカスタムフィールドのダイアログボックスで、カスタムフィールド名を入力し、フィールドタイプや読み取り・書き込み権限を設定します。

**説明：**

フィールド名は必ずアルファベットにしてください。長さは8文字以下とします。

少なくとも1つの読み取り権限と1つの書き込み権限を設定する必要があります。

**User Custom Fields** [Close]

Custom Field\*

Field Type

Readable by App  Activate  Disable

Writable by App  Activate  Disable

Readable by Administrator  Activate  Disable

Writable by Administrator  Activate  Disable

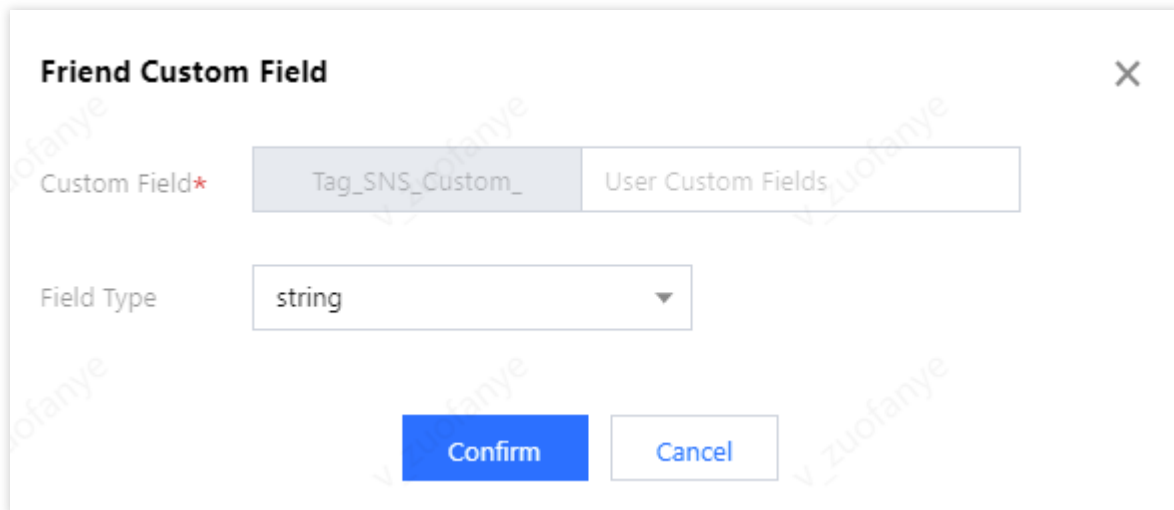
3. **OK**をクリックし、設定を保存します。

### ユーザーカスタムフィールド権限の変更

1. ユーザーカスタムフィールドページで、対象のカスタムフィールドがある行の**権限の変更**をクリックします。

2. ポップアップ表示されたユーザーカスタムフィールドのダイアログボックスで、読み取り・書き込み権限を変更します。

3. **OK**をクリックし、設定を保存します。



**Friend Custom Field** [X]

Custom Field\* Tag\_SNS\_Custom\_ User Custom Fields

Field Type string

Confirm Cancel

4. **OK**をクリックし、設定を保存します。

## グループ設定

### グループメンバーカスタムフィールド

[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで**機能設定**>**グループメンバーカスタムフィールド**を選択すると、実際の業務に応じてグループメンバーカスタムフィールドを管理することができます。

#### ご注意：

最大5個のグループメンバーカスタムフィールドを追加することができます。このフィールドは、グループタイプとそれに対応する読み取り・書き込み権限の変更のみに対応し、削除には対応していません。業務上の必要性に応じて、このフィールドを適切にプランニングしてください。

### グループメンバーカスタムフィールドの追加

1. **グループメンバーカスタムフィールド**ページで、右側の**追加**ボタンをクリックします。
2. ポップアップ表示されたグループメンバーディメンションカスタムフィールドのダイアログボックスに、フィールド名を入力し、グループタイプとそれに対応する読み取り・書き込み権限を設定します。

#### 説明：

フィールド名は、英数字およびアンダーバー(\_)のみで構成され、数字で始めることはできません。長さは16文字以下とします。

グループメンバーカスタムフィールド名は、グループカスタムフィールド名と同じにすることはできません。

グループタイプの追加をクリックしてグループタイプのパラメータを追加できます。グループタイプを繰り返すことはできません。

ターゲットグループタイプのパラメータがある行の削除をクリックして、このグループタイプのパラメータを削除できます。少なくとも1つのグループタイプのパラメータを保持する必要があります。

### Group Member Custom Field

Field Name

A field name can contain up to 16 characters and only letters, numbers, and underscores are supported. It cannot start with a r

Group Type

Group Type	Read	Write	My Own Readable and Writable
Work Group ▼	Readable by All ▼	Writable by All ▼	Readable and Writable ▼

I understand that after a "group member custom field" is added, only the read-write permissions of the added group type the group type cannot be reselected or deleted; the field cannot be deleted.

3. 「グループメンバーカスタムフィールド」を追加すると、追加したグループタイプの読み取り・書き込み権限のみを変更でき、フィールドの削除や追加したグループタイプの再選択や削除はできないことを承知しています。にチェックを入れます。

4. **OK**をクリックして設定を保存します。

#### グループメンバーカスタムフィールドの編集

1. グループメンバーカスタムフィールドページで、対象のグループメンバーカスタムフィールドがある行の**編集**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたグループメンバーディメンションカスタムフィールドのダイアログボックスで、選択したグループタイプの読み取り・書き込み権限を変更するか、または**グループタイプの追加**をクリックしてグループタイプを追加し、パラメータを設定します。グループタイプは重複できません。

### Group Member Custom Field

Field Name

A field name can contain up to 16 characters and only letters, numbers, and underscores are supported. It cannot start with a

Group Type

Group Type	Read	Write	My Own Readable and Writable
Work Group	Readable by All	Writable by All	Readable and Writable
Public Group	Readable by All	Writable by All	Readable and Writable
Meeting Group	Readable by All	Writable by All	Readable and Writable

[Add Group Type](#)

I understand that after a "group member custom field" is added, only the read-write permissions of the added group type the group type cannot be reselected or deleted; the field cannot be deleted.

[Confirm](#) [Cancel](#)

3. 「グループメンバーカスタムフィールド」を追加すると、追加したグループタイプの読み取り・書き込み権限のみを変更でき、フィールドの削除や追加したグループタイプの再選択や削除はできないことを承知しています。にチェックを入れます。

4. **OK**をクリックして設定を保存します。

## グループカスタムフィールド

[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで機能設定>グループカスタムフィールドを選択すると、実際の業務に応じてグループカスタムフィールドを管理することができます。

### ご注意：

最大10個のグループカスタムフィールドを追加することができます。このフィールドは、グループタイプとそれに対応する読み取り・書き込み権限の変更のみに対応し、削除には対応していません。業務上の必要性に応じて、このフィールドを適切にプランニングしてください。

## グループカスタムフィールドの追加

1. グループカスタムフィールドページで、グループディメンションカスタムフィールドの追加をクリックします。

2. ポップアップ表示されたグループディメンションカスタムフィールドのダイアログボックスに、フィールド名を入力し、グループタイプとそれに対応する読み取り・書き込み権限を設定します。

#### 説明：

フィールド名は、英数字およびアンダーバー(\_)のみで構成され、数字で始めることはできません。長さは16文字以下とします。

グループカスタムフィールド名は、グループメンバーカスタムフィールド名と同じにすることはできません。

グループタイプの追加をクリックして、グループタイプのパラメータを追加することができます。グループタイプは重複できません。

対象のグループタイプのパラメータがある行の削除をクリックすると、グループタイプのパラメータを削除することができます。少なくとも1つのグループタイプのパラメータを残す必要があります。

### Group-level Custom Field

Field Name

A field name can contain up to 16 characters and only letters, numbers, and underscores are supported. It cannot start with a

Group Type	Read	Write	
<input type="text" value="Public Group"/>	<input type="text" value="Readable by All"/>	<input type="text" value="Writable by All"/>	<input type="text" value="0"/>

I understand that after a "group custom field" is added, only the read-write permissions of the added group type can be group type cannot be reselected or deleted; the field cannot be deleted.

3. 「グループメンバーカスタムフィールド」を追加すると、追加したグループタイプの読み取り・書き込み権限のみを変更でき、フィールドの削除や追加したグループタイプの再選択や削除はできないことを承知しています。にチェックを入れます。

4. OKをクリックして設定を保存します。

#### グループカスタムフィールドの編集

1. グループカスタムフィールドページで、対象のグループカスタムフィールドがある行の編集をクリックします。

2. ポップアップ表示されたグループディメンションカスタムフィールドのダイアログボックスで、選択したグループタイプの読み取り・書き込み権限を変更するか、またはグループタイプの追加をクリックしてグループタ

IPを追加し、パラメータを設定します。グループタイプは重複できません。

### Group-level Custom Field

Field Name

A field name can contain up to 16 characters and only letters, numbers, and underscores are supported. It ca

Group Type	Read	Write
<input type="text" value="Public Group"/>	<input type="text" value="Readable by Member"/>	<input type="text" value="Writable by All"/>
<input type="text" value="Work Group"/>	<input type="text" value="Readable by All"/>	<input type="text" value="Writable by All"/>
<input type="text" value="Meeting Group"/>	<input type="text" value="Readable by All"/>	<input type="text" value="Writable by All"/>

I understand that after a "group custom field" is added, only the read-write permissions of the added gr  
group type cannot be reselected or deleted; the field cannot be deleted.

3. 「グループメンバーカスタムフィールド」を追加すると、追加したグループタイプの読み取り・書き込み権限のみを変更でき、フィールドの削除や追加したグループタイプの再選択や削除はできないことを承知しています。にチェックを入れます。

4. OKをクリックして設定を保存します。

## グループメッセージの設定

IMコンソールにログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで機能設定>グループ設定>グループメッセージの設定を選択すると、実際の業務ニーズに応じて、グループメッセージを設定することができます。

### グループ参加前のローミングメッセージのプル

1. グループ参加前のローミングメッセージページで、各グループタイプに対して、編集をクリックします。

2. ポップアップ表示されたローミングメッセージの設定ダイアログボックスで、業務に必要な設定項目を選択します。

#### 説明：

設定を変更したら、約10分後に有効になります。しばらくお待ちください。

ライブ配信グループ(AVChatRoom)は、グループ参加前のローミングメッセージのプルの設定をサポートしません。

## グループシステム通知の設定

IMコンソールにログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで機能設定>グループ設定>グループシステム通知の設定を選択すると、実際の業務ニーズに応じて、グループシステム通知を設定することができます。

### グループメンバーの変更通知

1. グループメンバーの変更通知ページで、各グループタイプに対して、**編集**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたグループメンバーの変更通知ダイアログボックスで、業務に必要な設定項目を選択します。

#### 説明：

設定を変更したら、約10分後に有効になります。しばらくお待ちください。

ライブ配信グループ(AVChatRoom)は、グループメンバーの変更通知の設定をサポートしません。

### グループプロフィールの変更通知

1. グループプロフィールの変更通知ページで、各グループタイプに対して、**編集**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたグループプロフィールの変更通知ダイアログボックスで、業務に必要な設定項目を選択します。

#### 説明：

設定を変更したら、約10分後に有効になります。しばらくお待ちください。

ライブ配信グループ(AVChatRoom)は、グループプロフィールの変更通知の設定をサポートしません。

### グループメンバープロフィールの変更通知

1. グループメンバープロフィールの変更通知ページで、各グループタイプに対して、**編集**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたグループメンバープロフィールの変更通知ダイアログボックスで、業務に必要な設定項目を選択します。

#### 説明：

設定を変更したら、約10分後に有効になります。しばらくお待ちください。

## グループ機能設定

IMコンソールにログインし、ターゲットアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで機能設定>グループ設定>グループ機能設定を選択すると、実際の業務ニーズに応じて、グループ機能を設定するこ

とができます。

## コミュニティ

コミュニティは10万人を収容できる大規模なグループであり、作成後は自由に出入りでき、履歴メッセージの保存をサポートします。コミュニティスイッチのオン・オフは初期状態ではオフになっていますが、オンにするとコミュニティを作成してコミュニティ関連の機能を利用できます。

トピック機能を使用する必要がある場合は、コミュニティをオンにした後、トピックオンのスイッチをオンにします。同じコミュニティの下に複数のトピックを作成でき、複数のトピックが一連のコミュニティメンバーシップを共有しますが、異なるトピックでは、互いに干渉することなく、メッセージを個別に送受信されます。

### 説明：

コミュニティ機能は、端末SDK 5.8.1668拡張バージョン、Web SDK 2.17.0およびそれ以降でのみサポートされています。以前のバージョンのユーザーがコミュニティ機能を使用する場合は、SDKバージョンをアップグレードしてください。

この機能は、フラグシップバージョンでのみサポートされています。[アップグレードをクリック](#)できます。

## ライブストリーミンググループのオンラインメンバーリスト

ライブストリーミンググループのオンラインメンバーリストのスイッチは、デフォルトではオフになっていますが、オンにすることができます。

### 説明：

オンにすると、ライブストリーミンググループのメンバーは直近グループに入りオンラインになっている1000人を保存し、クライアントはそのリストをプルできます。オフにすると、クライアントはその1000人のリストをプルできず、直近グループに入った30人のリストのみプルできます。

この機能は、端末SDK 6.3およびそれ以降のバージョンのみサポートします。以前のバージョンのユーザーが使用する場合は、SDKバージョンをアップグレードしてください。

この機能は、フラグシップバージョンでのみサポートされています。[アップグレードをクリック](#)できます。

## ライブストリーミンググループのブロードキャストメッセージ

ライブストリーミンググループのブロードキャストメッセージ機能をオンにするかどうかのスイッチは、デフォルトではオフになっていますが、オンにすることができます。

### 説明：

ライブストリーミンググループのブロードキャストメッセージ機能は、デフォルトではオフになっており、端末SDK 6.5およびそれ以降のバージョンをサポートします。

この機能をオンにすると、ライブストリーミンググループのブロードキャストメッセージを呼び出す頻度を、デフォルトでは1件/秒、最大5件/秒に設定できます。

この機能は、フラグシップバージョンでのみサポートされています。[アップグレードをクリック](#)できます。

## ライブストリーミンググループの禁止



有効になると、ライブストリーミンググループのメンバーを禁止できます。禁止されたメンバーはメッセージを受け取ることができず、禁止期間中はグループに参加できません。

#### 説明：

この機能は、端末SDK 6.6、Web SDK 2.22およびそれ以降のバージョンで使用できます。以前のバージョンのユーザーが使用する場合は、SDKバージョンをアップグレードしてください。

この機能は、フラグシップバージョンでのみサポートされています。[アップグレードをクリック](#)できます。

#### ライブストリーミンググループ新規メンバーのグループ参加前のメッセージ設定の確認

ライブ配信グループの新しいメンバーによるグループ参加前メッセージの確認とライブルームでのユーザーの利用率を向上させるための重要な機能により、ユーザーが「事前要約」を理解し、ユーザー間のやり取りとディスカッションにすばやく慣れるため、ユーザーのエンゲージメントが向上し、ユーザーはいつライブルームに入っても、没入感の高い体験が得られます。これにより、ユーザーがライブルームを利用する時間が長くなります。

1. ログインとメッセージページで、ライブストリーミンググループ新規メンバーのグループ参加前のメッセージ設定の確認右側の編集をクリックします。
2. ポップアップしたライブストリーミンググループ新規メンバーのグループ参加前のメッセージ設定の確認ダイアログボックスで、新規メンバーが確認可能なメッセージ数を設定します。
3. OKをクリックし、設定を保存します。

#### グループメッセージの開封確認の設定

グループメッセージの開封確認は、効率的なコミュニケーションに欠かせない機能です。強力なフィードバックツールとして、送信したメッセージの既読/未読人数とメンバーの確認をサポートし、特にビジネスと業務のシナリオで、チームがよりタイムリーで効率的なコミュニケーション環境を構築するのに役立ちます。

1. ログインとメッセージページで、グループメッセージの開封確認の設定の右側にある[編集]をクリックします。
2. ポップアップ表示されたグループメッセージの開封確認の設定のダイアログボックスで、メッセージ通知をサポートするグループタイプを設定します。
3. OKをクリックし、設定を保存します。

#### 説明：

この機能はUltimate版のユーザーのみ利用できます。Ultimate版のユーザーでない場合は、[アップグレード](#)してから使用してください。グループメッセージの開封確認機能は、端末SDK 6.1.2155以降のバージョンをサポートし、グループ容量が200未満のフレンドワークグループ(Work)、知らない人とのソーシャルグループ(Public)および臨時ミーティンググループ(Meeting)などに適用できます。

# アカウント管理

最終更新日：：2024-04-11 17:35:47

[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで**グループ管理**を選択すると、実際の業務ニーズに応じてグループを管理することができます。

## アカウントの新規作成

1. アカウント管理ページで、アカウントの新規作成をクリックします。
2. ポップアップ表示されたアカウント新規作成のダイアログボックスで、次のパラメータを設定します：

### Create account

Account Type  General  Admin (i)

Username \*

Nickname

Profile Photo

アカウントのタイプ：通常アカウントと管理者アカウントを区別します。「App管理者」は、Appに対して最高の管理権限を有するロールです。REST APIインターフェースを呼び出して、グループの作成/解散、全メンバーへのメッセージのプッシュなどの操作を行うことができます。アプリケーションはそれぞれ最大10人の管理者をサポートしています。

ユーザー名：ユーザー名(UserID)の入力が必要です。これは必須です。

ユーザーのニックネーム：ユーザーのニックネームを入力できます。これはオプションです。

プロフィールフォト：ユーザーのプロフィールフォトのリンクURLを入力できます。これはオプションです。

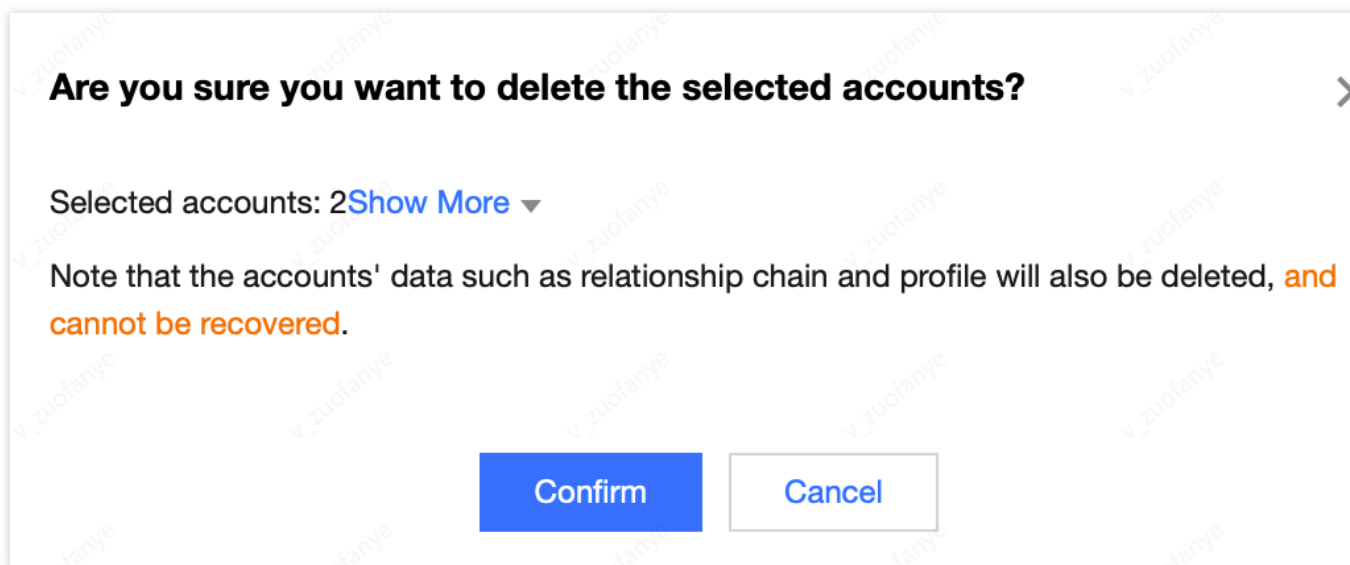
3. **OK**をクリックし、設定を保存します。

アカウントが新規作成されると、アカウントリストでユーザー名、ニックネーム、アカウントのタイプ、プロファ

プロフィール、および作成時間を確認できます。

## アカウントの削除

1. アカウント管理ページで、リストから削除するアカウントを選択し、**一括削除**をクリックします。
2. ポップアップ表示された確認のダイアログボックスで、**OK**をクリックして削除を確認します。削除後のデータはリカバーできませんので、十分ご注意ください。



## アカウントの編集

1. アカウント管理ページで、リストから編集したいアカウント操作列の編集をクリックします。
2. ポップアップ表示されたアカウント編集のダイアログボックスで、次のパラメータを設定します：  
<br>  
ユーザー名：編集できません。  
ニックネーム：ユーザーのニックネームを編集できます。これはオプションです。  
アカウントのタイプ：編集できません。  
性別：性別を編集できます。これはオプションです。  
誕生日：誕生日を編集できます。これはオプションです。  
所在地：所在地を編集できます。これはオプションです。  
パーソナライズされた署名：パーソナライズされた署名を編集できます。これはオプションです。  
友達追加の認証方法：友達追加の認証方法を編集できます。  
言語：言語を編集できます。これはオプションです。  
プロフィールフォト：プロフィールフォトを編集できます。これはオプションです。

メッセージ設定：メッセージ設定オプションを選択できます。これはオプションです。

管理者による友達追加の禁止：友達追加が管理者によって禁止される標識を設定できます。これはオプションです。

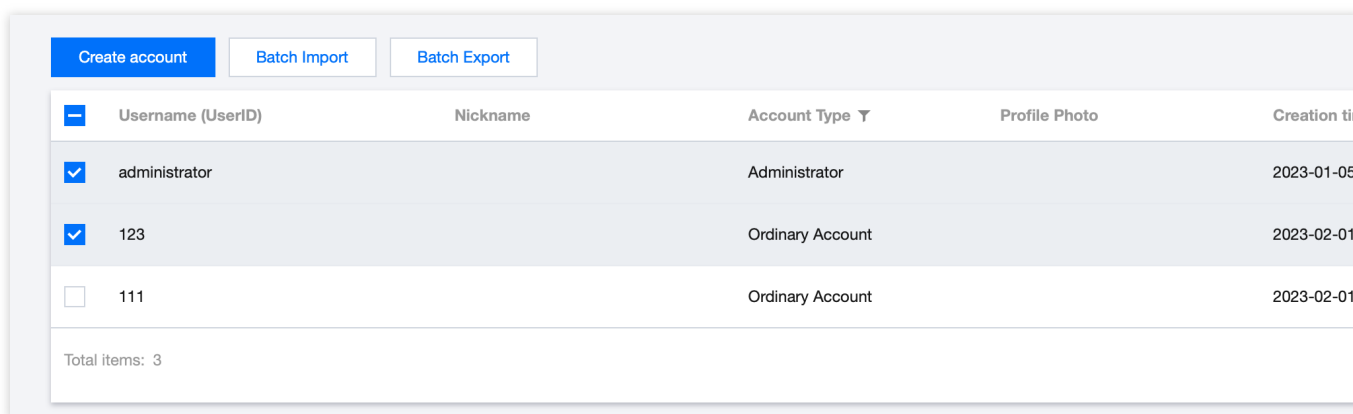
グレード：グレードを編集できます。これはオプションです。

ロール：ロールを編集できます。これはオプションです。

3. **OK**をクリックし、設定を保存します。

## アカウントのエクスポート

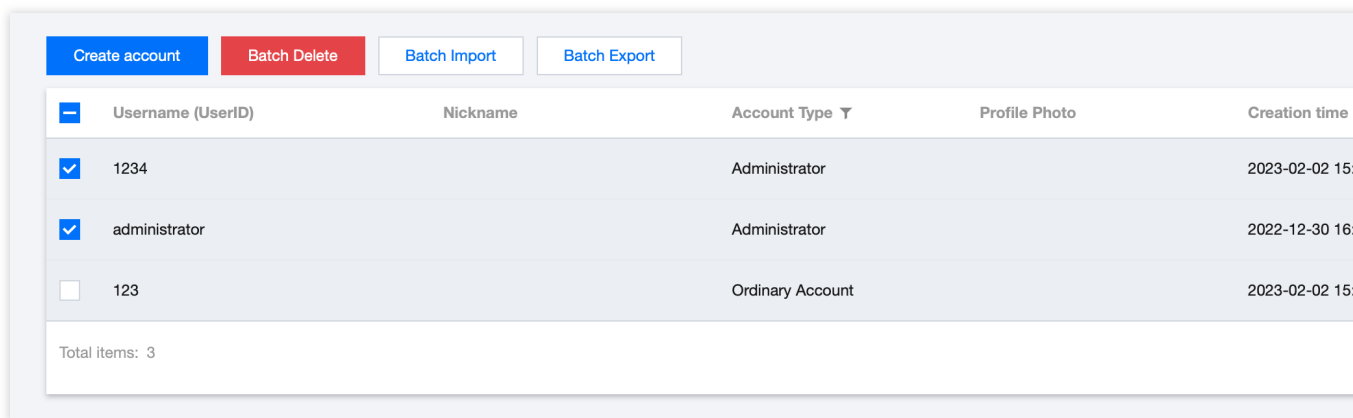
1. 個別にエクスポート：アカウント管理ページで、リストからエクスポートしたいアカウント操作列のエクスポートをクリックします。



<input type="checkbox"/>	Username (UserID)	Nickname	Account Type ▼	Profile Photo	Creation time
<input checked="" type="checkbox"/>	administrator		Administrator		2023-01-05
<input checked="" type="checkbox"/>	123		Ordinary Account		2023-02-01
<input type="checkbox"/>	111		Ordinary Account		2023-02-01

Total items: 3

2. 一括エクスポート：アカウント管理ページで、リストからエクスポートしたいアカウントを選択し、一括エクスポートをクリックします。



<input type="checkbox"/>	Username (UserID)	Nickname	Account Type ▼	Profile Photo	Creation time
<input checked="" type="checkbox"/>	1234		Administrator		2023-02-02 15:00
<input checked="" type="checkbox"/>	administrator		Administrator		2022-12-30 16:00
<input type="checkbox"/>	123		Ordinary Account		2023-02-02 15:00

Total items: 3

3. ポップアップ表示されたダイアログボックスに、エクスポートに成功したことが示されたら、ダウンロードをクリックしてエクスポートを完了します。

# グループ管理

最終更新日：：2024-04-11 17:36:07

[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで**グループ管理**を選択すると、実際の業務に応じてグループを管理することができます。

対応するREST API管理グループを呼び出して、グループを管理することもできます。具体的な操作については、[グループ管理APIドキュメント](#)をご参照ください。

## グループの追加

1. **グループ管理**ページで、**グループの追加**をクリックします。

2. ポップアップしたグループの追加ダイアログボックスで、次のパラメータを設定します。

グループ名：グループ名を入力してください。パラメータは入力必須で、長さは30バイト以下。

グループマスターID：グループマスターのIDを入力してください。パラメータはオプションです。登録済みのユーザー名を入力する必要があります。

グループタイプ：グループタイプを設定してください。ワーク、パブリック、ミーティング、オーディオビデオチャットルームのグループをサポートしています。グループの詳細な紹介については、[グループタイプの説明](#)をご参照ください。

3. **OK**をクリックし、設定を保存します。

グループの作成が完了すると、グループリストにグループID、グループ名、グループマスター、タイプと作成時間を表示できます。

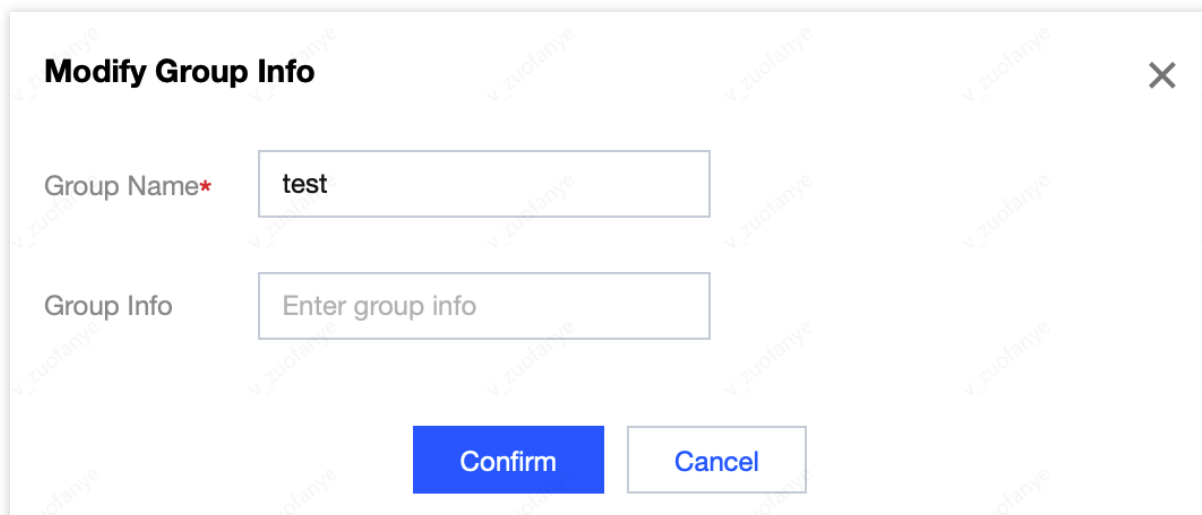
## グループの詳細の表示

**グループ管理**ページで、対象のグループがある行の**詳細の表示**をクリックして**グループの詳細**ページに進むと、このグループの基本情報を表示や変更したり、グループメンバーを管理したりすることができます。

### 基本情報の変更

1. **グループの詳細**ページで、基本情報エリアの**編集**をクリックします。

2. ポップアップ表示されたグループ情報の変更ダイアログボックスで、グループ名とグループ情報を変更できます。



**Modify Group Info** [Close]

Group Name\*

Group Info

**Confirm** **Cancel**

3. **OK**をクリックし、設定を保存します。

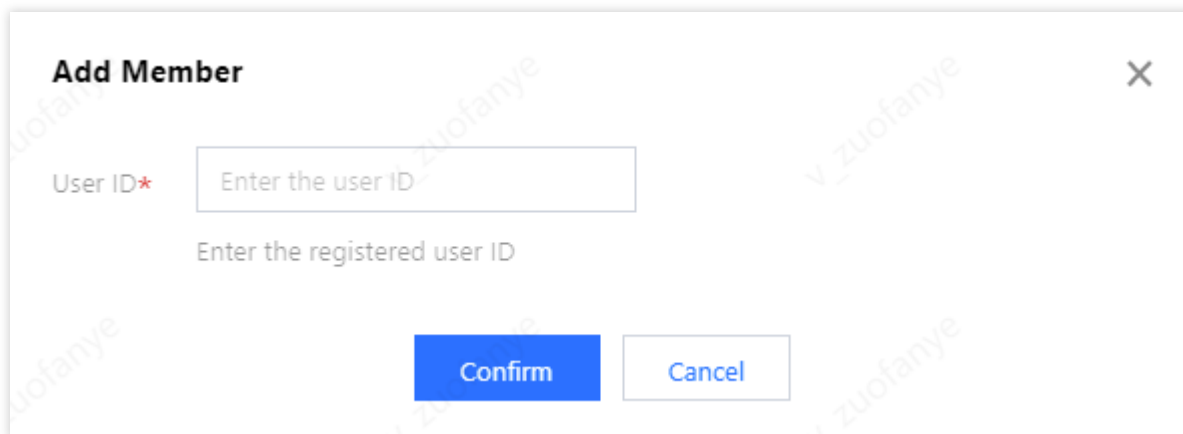
## グループメンバー管理

### グループメンバーの追加

1. **グループの詳細**ページで、グループメンバー管理エリアの**グループメンバーの追加**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたメンバーの追加ダイアログボックスに、ユーザー名を入力します。

#### 説明：

必ず入力済みのユーザー名を入力する必要があります。



**Add Member** [Close]

User ID\*

Enter the registered user ID

**Confirm** **Cancel**

3. **OK**をクリックし、設定を保存します。

グループメンバーの追加が成功すると、グループメンバーリストで、ユーザー名、ニックネーム、参加時間、最終発言時間、メンバーのロールを表示することができます。

### グループメンバーの削除

1. **グループの詳細**ページでは、次の方法によってグループメンバーを削除することができます。

個別削除：ターゲットのグループメンバーがある行の**削除**をクリックします。

一括削除：削除対象のすべてのグループメンバーにチェックを入れ、グループメンバーリストの上にある**グループメンバーの削除**をクリックします。

2. ポップアップ表示された削除確認ダイアログボックスで、**確認**をクリックします。

削除した後、選択したメンバーはこのグループに属さなくなります。

## メッセージの送信

1. **グループ管理**ページで、次の方法によりメッセージを送信することができます。

グループメッセージの個別送信：対象のグループがある行の**メッセージの送信**をクリックします。

グループメッセージのグループ送信：メッセージ送信対象のすべてのグループにチェックを入れ、グループリストの上にある**メッセージの送信**をクリックします。

2. ポップアップ表示された送信グループメッセージダイアログボックスに、メッセージ内容を入力します。

**説明：**

メッセージの長さは300文字を超えてはなりません。

3. **OK**をクリックして設定を保存します。

## グループの解散

解散すると、グループの情報はすべて削除され、復元することはできませんので、慎重に操作してください。

1. **グループ管理**ページで、次の方法によりグループを解散することができます。

個別解散：対象のグループがある行の**解散**をクリックします。

一括解散：解散対象のすべてのグループにチェックを入れ、グループリストの上にある**グループ解散**をクリックします。

2. ポップアップ表示された解散確認ダイアログボックスで、**確認**をクリックします。

解散すると、グループの情報はすべて削除され、復元することもできなくなります。

# コールバック設定

最終更新日：2024-04-11 17:36:29

IMコンソールにログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーで**コールバック設定**を選択します。実際の業務に応じてコールバックURLを設定し、有効にするコールバックを決定できます。

## コールバックURLの設定

1. **コールバック設定**ページで、コールバックURL設定エリアの**編集**をクリックします。
2. ポップアップ表示されたコールバックURL設定のダイアログボックスに、コールバックURLを入力します。

### 説明：

新しいコールバック・アドレスは、変更成功してから2分後に有効になります。

コールバックURLは、`http://` または `https://` で始まらなければなりません。

ドメイン名をまだ申請していない場合は、`http://123.123.123.123/imcallback` など、IPを直接設定することができます。

使用できるのは、英語アルファベット（`a~z`、大文字と小文字は区別しません）、数字（`0~9`）およびハイフン（`-`）のみです。スペースや次の文字（`!$&?`など）はサポートされていません。

ハイフン（`-`）を連続して表示したり、単独で登録したり、先頭または末尾に配置したりすることはできません。

ドメイン名の長さは63文字以下とします。

コールバックURLのIMのデフォルトは80/443ポートで、コールバックURLが置き換えられると、ポートに変更が生じます。置き換え前後のポートを相互にプレフィックスとして使用しないでください。例えば、`https://xxx:443` を `https://xxx:4433` に変更したり、`https://xxx` を `https://xxx:4433` に変更したりすることは避けてください。

3. **OK**をクリックし、設定を保存します。

## イベントコールバックの設定

1. **コールバックの設定**ページで、イベントコールバック設定エリアの**編集**をクリックします。
2. コールバックURLを設定するポップアップダイアログボックスで、必要なコールバックにチェックを入れます。



### Event Callback Configuration

**Group**

<input type="checkbox"/> Callback after group creation	<input type="checkbox"/> Callback after member leaving a group	<input type="checkbox"/> Callback after member entering a group	<input type="checkbox"/> Callback after speaking in a group
<input type="checkbox"/> Callback before application to enter a group	<input type="checkbox"/> Callback before group creation	<input type="checkbox"/> Callback before adding a member to a group	<input type="checkbox"/> Callback before speaking in a group
<input type="checkbox"/> Callback after disbanding groups	<input type="checkbox"/> Callback after group is full		

**Callback after group profile modification**

<input type="checkbox"/> Callback after group portrait URL change	<input type="checkbox"/> Callback after group info modification	<input type="checkbox"/> Callback after group name change	<input type="checkbox"/> Callback after modifying group notice
---	---	---	--

**Info Relationship Chain**

<input type="checkbox"/> Callback after adding users to blacklist	<input type="checkbox"/> Callback after friend adding	<input type="checkbox"/> Callback after removing users from blacklist	<input type="checkbox"/> Callback after friend deletion
---	---	---	---

**One-to-One Message**

<input type="checkbox"/> Callback before sending one-to-one messages	<input type="checkbox"/> Callback after sending one-to-one messages
--	---

**Online Status**

<input type="checkbox"/> Online status change callback
--

3. **OK**をクリックして設定を保存します。

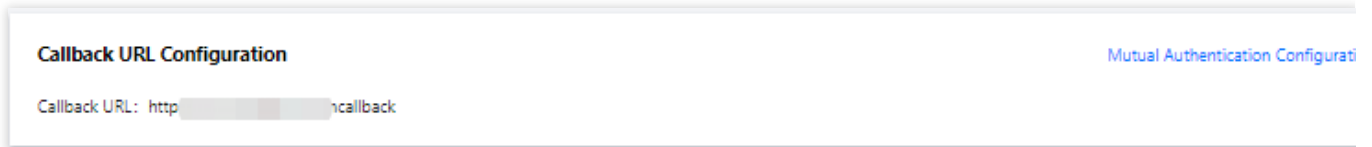
## HTTPS双方向認証証明書のダウンロード

コールバックURLを設定すると、コンソールでHTTPS双方向認証証明書をダウンロードできます。

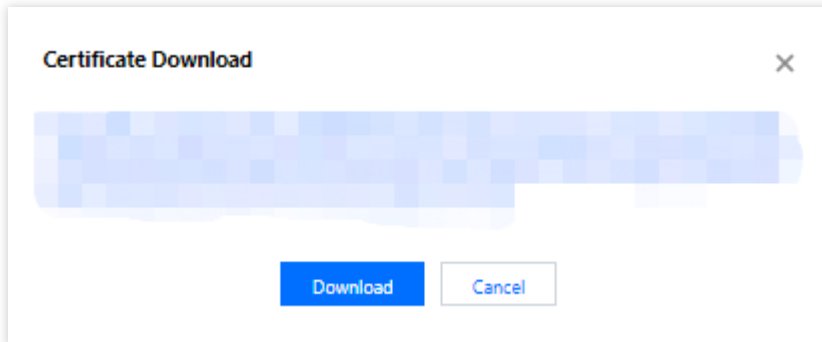
### 説明：

必要に応じて双方向認証を設定することができます。具体的な設定方法については、[双方向認証の設定](#)をご参照ください。

1. [コンソール](#)の[コールバック設定](#)ページに進み、右上のコールバックURL設定エリアの[HTTPS双方向認証証明書のダウンロード](#)をクリックします。



2. ポップアップ表示された証明書ダウンロードのダイアログボックスで、【ダウンロード】をクリックします。



3. 証明書ファイルを保存します。

## 後続の操作

コールバックURLを設定し、対応するイベントコールバックを有効化した後、[サードパーティのコールバック](#)を参照して、対応するコールバック機能を使用すると、ユーザー情報と操作情報をリアルタイムで取得できます。

# 監視ダッシュボード

最終更新日：：2024-04-11 17:36:55

IMコンソールは、データ統計および分析機能を提供します。[IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックして、左側ナビゲーションバーの**監視ダッシュボード**を選択すると、アプリケーションのユーザースケール、メッセージアクティビティ、グループスケール、リアルタイムモニタリングなどの関連データを表示することができます。

## 説明：

通常、データは毎日午前10時頃に更新されます。データが0であるか、または定時に更新されない場合は、このSDKAppIDが統計セクションで関連データを生成したかどうか（例：新規登録ユーザーがいるかなど）をチェックしてください。関連データが生成されても定時に更新されていない場合は、しばらくお待ちください。

## 毎日のデータ統計

### ユーザースケール

1. 日別データ統計ページで、ユーザースケールタブを選択します。

2. 概要エリアで、次の関連データを表示することができます。

当月のピークDAU：昨日時点での、このSDKAppIDの当月のピークDAUデータ。毎月1日にこのデータは0となります。

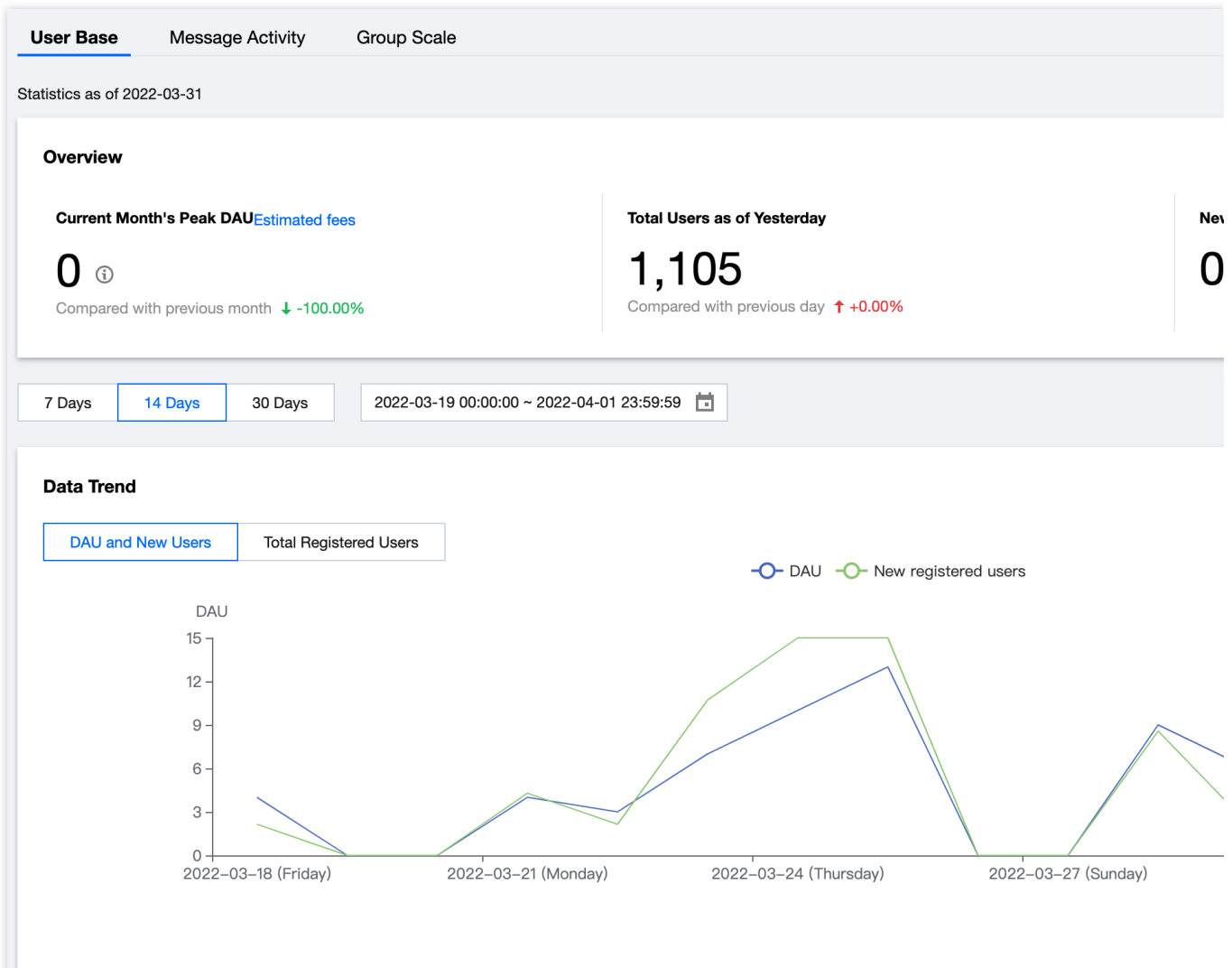
昨日時点の累計ユーザー数：昨日時点における、このSDKAppIDに登録されている累計UserID数です。

昨日の新規登録ユーザー数：昨日、このSDKAppIDに新規登録されたUserID数です。

3. 7日、14日、30日を選択するか、または時間帯を指定します。

4. データトレンドエリアでは、選択した時間帯の**DAU**と**新規追加**または**累計登録**のトレンドグラフを表示することができます。

5. データ詳細エリアでは、**DAU**、**DAU（前日比）**、**累計ユーザー数**、**累計ユーザー数（前日比）**、**新規登録ユーザー数**、**新規登録ユーザー数（前日比）**を表示することができます。また、**CSVファイルでエクスポート**をクリックして、データテーブルをエクスポートすることもできます。



## メッセージアクティビティ

1. 日別データ統計ページで、メッセージアクティブタブを選択します。

2. 概要エリアで、次の関連データを表示することができます。

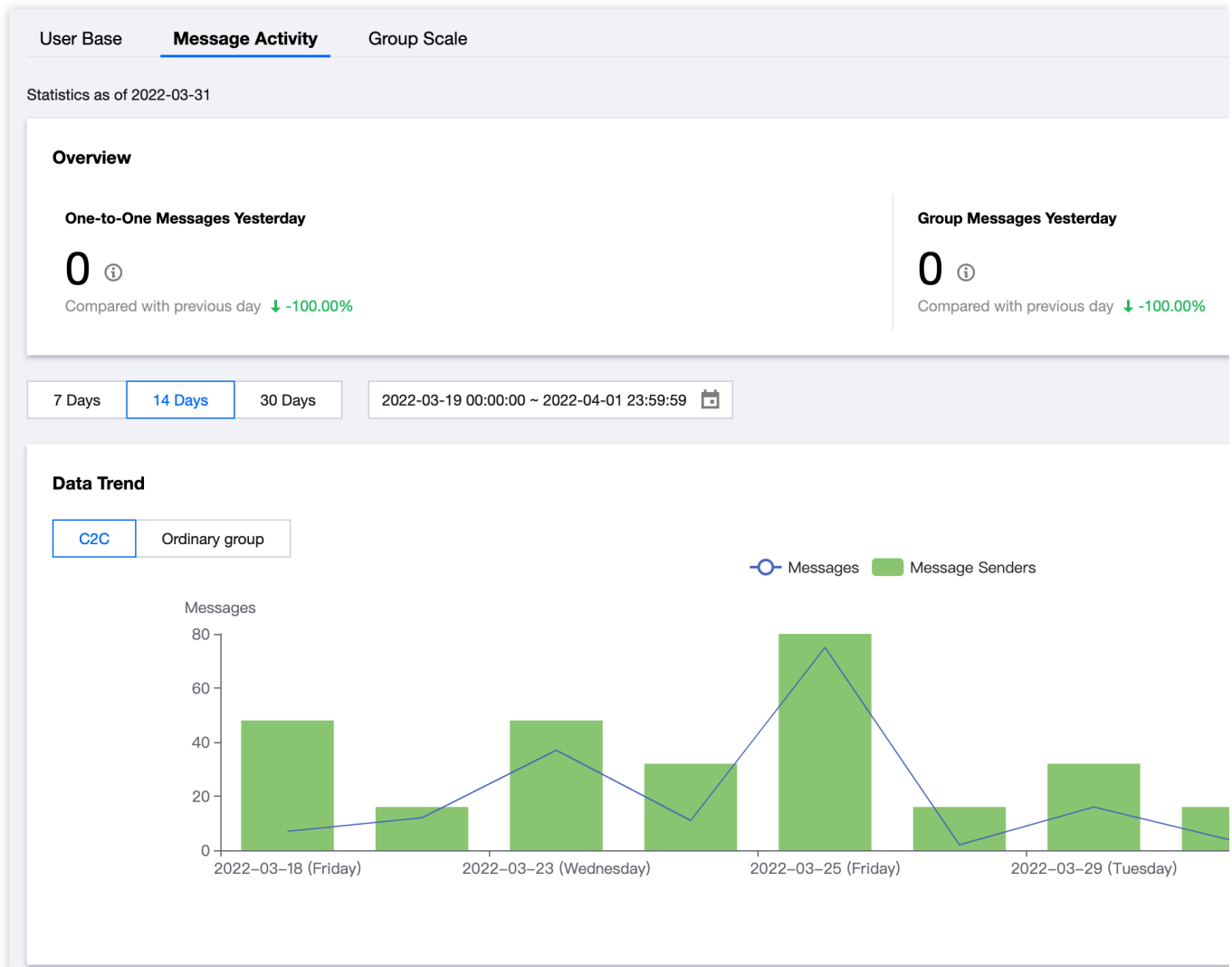
昨日のシングルチャットメッセージ量：昨日のこのSDKAppIDでのC2Cチャットの上りメッセージ総数。

昨日のグループメッセージ量：昨日のこのSDKAppIDでのプライベートグループ、パブリックグループ、チャットルームでのチャットの上りメッセージ総数。

3. 7日、14日、30日を選択するか、または時間帯を指定します。

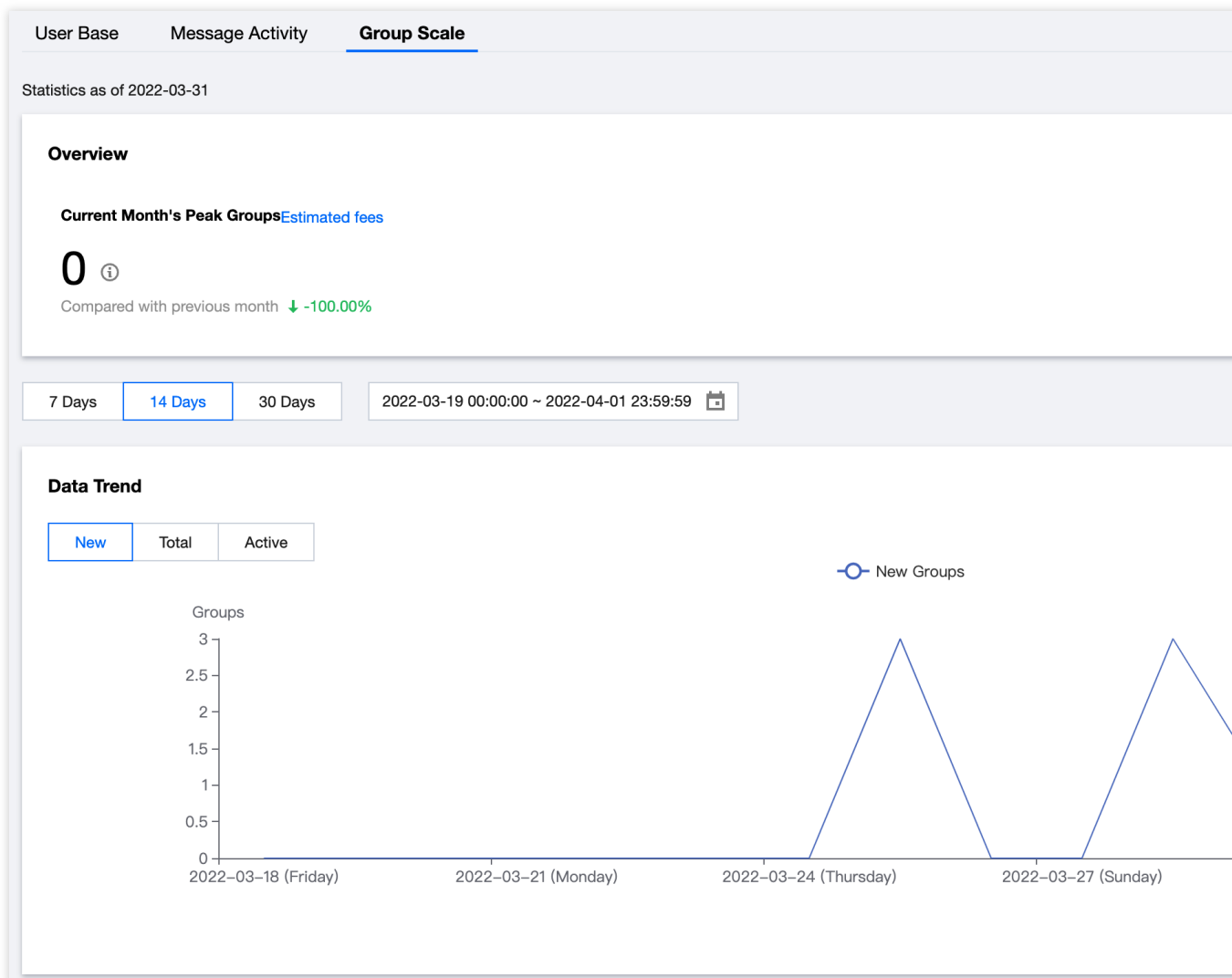
4. データトレンドエリアでは、選択した時間帯の**C2C**または**通常グループ**のメッセージ量トレンドグラフを表示することができます。

5. データ詳細エリアでは、メッセージ量（件）、メッセージ量（前日比）、メッセージ送信ユーザー数、メッセージ送信ユーザー数（前日比）、オフラインプッシュ量、オフラインプッシュ量（前日比）など、選択した時間帯における各日の詳細データを表示することができます。また、**CSVファイルでエクスポート**をクリックして、データテーブルをエクスポートすることもできます。



## グループスケール

1. 日別データ統計ページで、**グループスケール**タブを選択します。
2. 概要エリアで、**今月のピークグループ数**の関連データ、つまり昨日時点のこのSDKAppIDの当月ピークグループデータを表示することができます。毎月1日にこのデータは0となります。
3. 7日、14日、30日を選択するか、または時間帯を指定します。
4. データ・トレンド領域でデータ項目を選択すると、選択した期間における**新規作成**、**累積**または**アクティブ**のグループ数のトレンドグラフが表示されます。
5. データ詳細エリアでは、**新規作成グループ数**、**新規作成グループ数（前日比）**、**メッセージアクティビティのあるグループ数**、**メッセージアクティビティのあるグループ数（前日比）**、**ピークグループ**、**ピークグループ（前日比）**など、選択した時間帯の各日の詳細データを表示することができます。また、**CSVファイルでエクスポート**をクリックして、データテーブルをエクスポートすることもできます。



## リアルタイムモニタリング

### 説明：

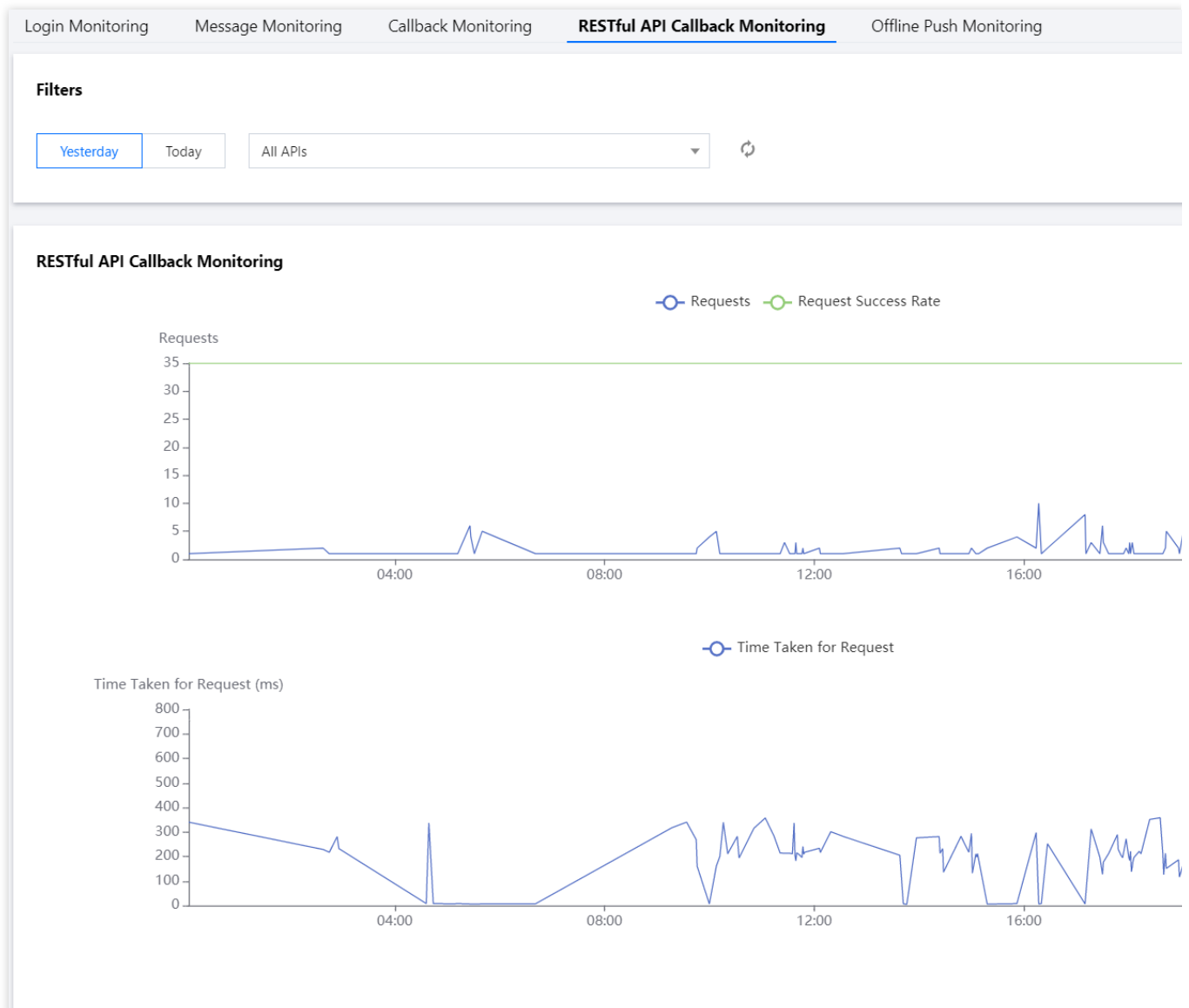
リアルタイムモニタリング機能はフルラインでオープンベータ中で、現在も継続的に更新されています。[チケットを提出](#)して、フィードバックや意見をお寄せいただけます。

- 左側のナビゲーションバーで、**監視ダッシュボード**>**リアルタイムモニター**を選択します。
- 一覧領域では、**現在のオンラインユーザー数**、**今日の2人チャットのメッセージ数**、**今日の一般グループのメッセージ数**、**今日のライブ配信グループのメッセージ数**を確認できます。
- 詳細モニタリングデータエリアでは、時間軸にデフォルトで暦日の24時間データが表示されます。カーソルをデータチャートエリアに合わせてスクロールすると、時間軸の詳細を拡大することができます。時間軸を左右にドラッグすると、前後時間のデータを表示することができます。時間軸の下の凡例をクリックすると、グラフ内の対応する数値を表示または非表示にできます。

ログイン状況のモニタリングエリアでは、各端末のログイン回数とログイン成功率を表示することができます。

**説明：**

現在、4.8.10以降のiOS、Android、Windows、Mac端末で報告されたログインデータの表示のみをサポートしています。[最新バージョンSDK](#)にアップグレードすることをお勧めします。



メッセージ状況のモニタリングエリアでは、各端末から送信されたシングルチャット/グループチャットメッセージの送信回数と成功率を表示できます。

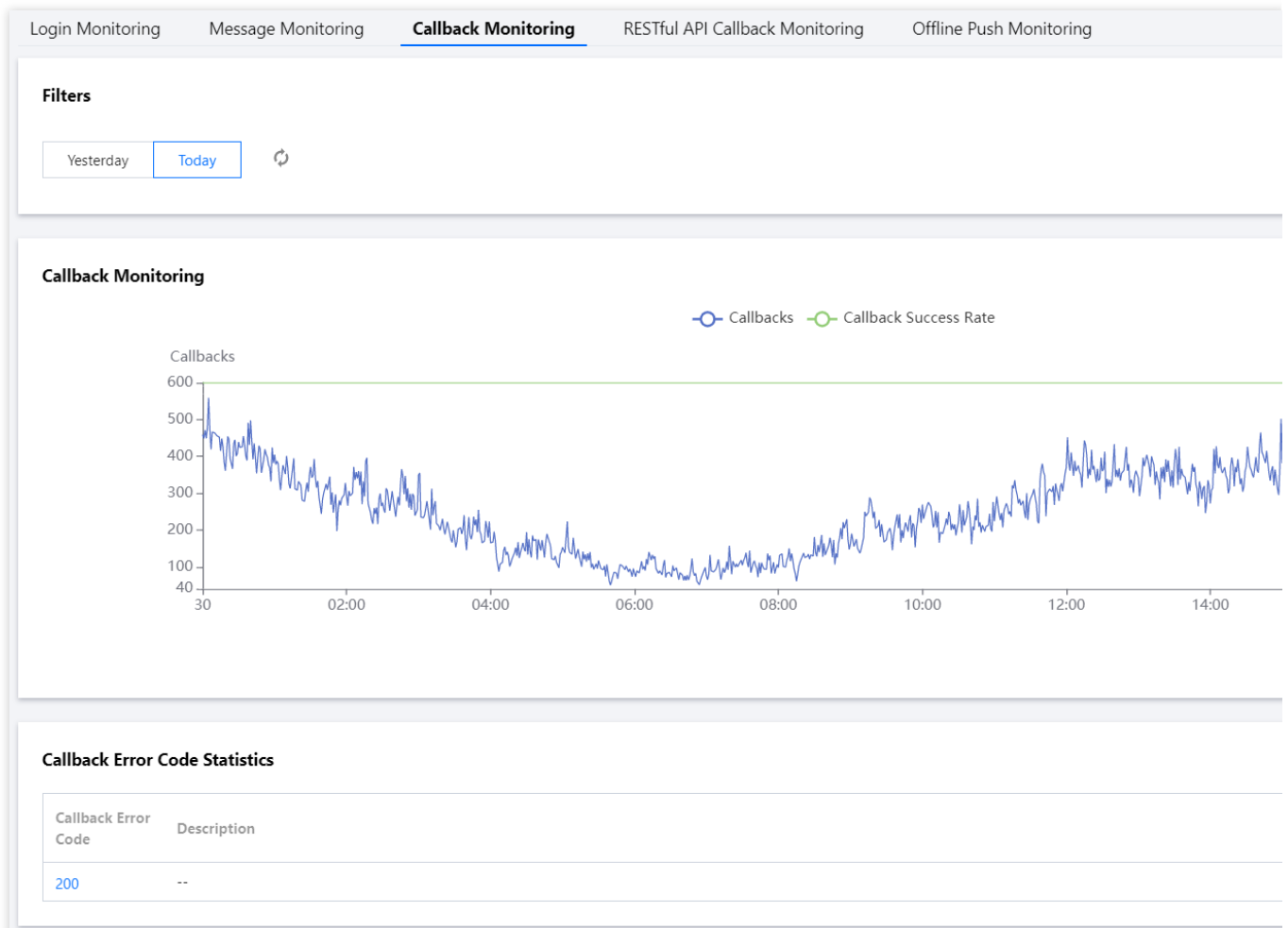
**説明：**

現在、4.8.10以降のiOS、Android、Windows、Mac端末で報告されたログインデータの表示のみをサポートしています。[最新バージョンSDK](#)にアップグレードすることをお勧めします。**Web側**は現時点でチャットタイプ別メッセージ量の統計をサポートしていません。

コールバック状況のモニタリングエリアでは、コールバック回数と成功率を表示することができます。

REST API呼び出し状況のモニタリングエリアでは、REST APIリクエスト数とリクエスト成功率を表示することができます。

オフラインプッシュ状況のモニタリングエリアでは、オフラインプッシュ回数とプッシュ成功率を表示することができます。





# 補助ツールの開発

最終更新日：：2023-03-28 10:09:31

## オフラインプッシュチェック

### オフラインプッシュ特定ツール

このツールを使用すれば、オフラインメッセージの受信に失敗したことに関連する問題を表示できます。

1. [IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックします。
2. 左側ナビゲーションバー [補助ツール](#) > [オフラインプッシュ自己検査](#)
2. [オフラインプッシュ問題特定ツール](#)領域で、UserIDを入力します。
3. [デバイスステータスの取得](#)をクリックし、このUserIDがこれまでに報告した証明書ID、デバイスTokenなどの情報を表示します。

#### 説明：

このUserIDが証明書ID、デバイスTokenなどの情報を報告しない場合、次の手順を実行することができません。

4. このUserIDによって報告された証明書IDを選択し、[検出開始](#)をクリックして送信結果を表示します。  
プッシュの成功が表示された場合、コンソールに入力した証明書情報に誤りがなく、SDKインターフェースを呼び出してTokenがアップロードされたことを意味します。[ユーザーのクライアントステータスチェックツール](#)を使用して、さらにトラブルシューティングを行うことができます。  
失敗が表示された場合、具体的な失敗原因とそのソリューションを表示することができます。

### Offline Push Issue Locator [What is offline push](#)

This tool is used for self-service checking when offline pushes cannot be received.

Enter the username (UserID)

  
  
Certificate ID   
  
Results:

## ユーザステータスチェックツール

このツールを使用すると、ユーザーのクライアントステータスを自動的に取得し、ユーザーがオフラインプッシュを受信できる状態にあるかどうかを確認することができます。

1. [IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックします。
2. 左側ナビゲーションバー **補助ツール** > **オフラインプッシュ自己検査**
3. **ユーザステータスチェックツール**領域で、UserIDを入力します。
2. **ステータスの取得**をクリックすると、このUserIDの現在のステータス、ログインしているクライアントタイプといった情報を表示することができます。

このUserIDがオフラインプッシュを受信できると暫定的に判断されたことを示すメッセージが表示された場合、別のデバイスに別のUserIDでログインし、現在のUserIDにシングルチャットのテキストメッセージを送信して、メッセージを受信できるかどうかをチェックすることができます。

### User Status Checker

This tool is used to automatically obtain user's client status and check whether the user can receive offline pushes.

Enter the username (UserID)

Get Status

**i** Users cannot receive offline pushes when they are not logged in (the Offline state). In addition, Android users can receive offline pushes only when they are in PushOnline state; iOS users can receive offline pushes only when their clients work in background.

## UserSig生成&検証

### 署名 (UserSig) 生成ツール

システムは、現在のアプリケーションのキーを自動的に取得します。このツールを使用すれば、ユーザー名 (UserID)を入力するだけで、(UserSig)を速やかに生成して、Demoの実行や機能のデバックをローカルで行うことができます。正式な業務で使用する必要がある場合は、[サーバーのUserSigの計算方法](#)をご利用ください。

1. [IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックします。
2. 左側のナビゲーション・バーで、[開発支援ツール](#)>[UserSigツール](#)を選択します。
2. 署名(UserSig)生成ツールエリアに、ユーザー名を入力します。
3. [署名\(UserSig\)の生成](#)をクリックすると、署名を生成することができます。署名の有効期間はデフォルトで180日です。
4. [署名\(UserSig\)のコピー](#)をクリックすると、署名をコピーしてペーストし、保存することができます。

### Signature (UserSig) Generator

This tool can quickly generate a UserSig, which can be used to run through demos and to debug features.

Enter the username (UserID)

Key

```
335105403a1ca03f*****faec0b940354c1f0
```

Generate UserSig

The generated UserSig is :

```
eJwt  
GaH  
5N  
qL2  
-
```

Copy UserSig

### 署名(UserSig)検証ツール

システムは現在のアプリケーションのキーを自動的に取得します。このツールを使用すれば、UserIDとUserSigを入力するだけで、UserSigの有効性を速やかに検証することができます。

1. [IMコンソール](#)にログインし、対象のアプリケーションカードをクリックします。
2. 左側のナビゲーション・バーで、**開発支援ツール**>**UserSigツール**を選択します。
2. 署名(UserSig)検証ツールエリアに、UserIDとUserSigを入力します。

### Signature (UserSig) Verifier

This tool is used to verify the validity of the UserSig you use.

Enter the username (UserID)

Key

```
335105403a1ca03f*****faec0b940354c1f0
```

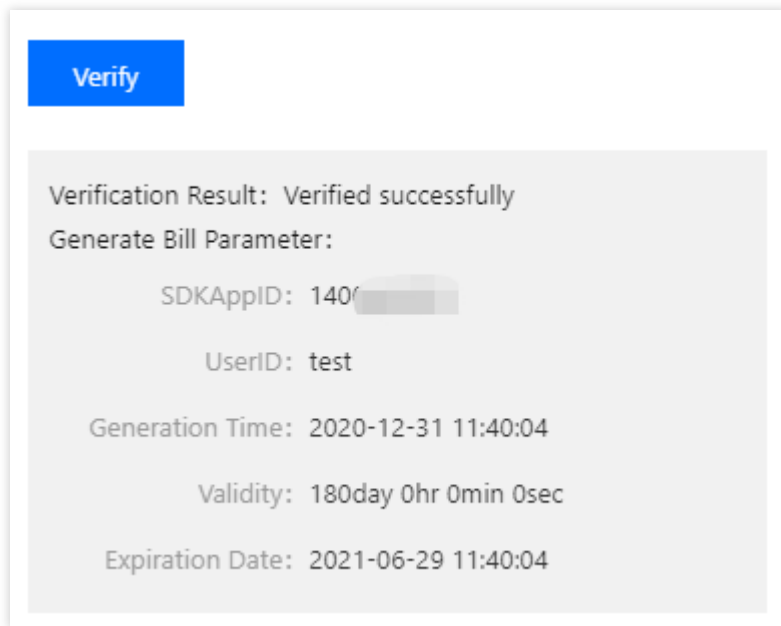
UserSig

```
eJwtzM  
ISUVOrdOatqif5*jSJp2Ad8fz7kwlg__
```

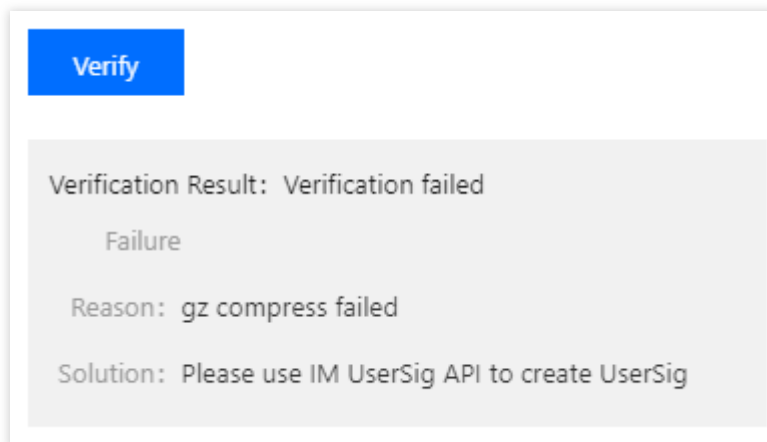
Verify

3. **検証開始**をクリックすると、検証結果情報が表示されます。

検証が成功すると、このUserSigに対応するSDKAppID、UserID、生成時間、有効期間および期限切れ期間を表示することができます。



検証の失敗が表示された場合、具体的な失敗原因とそのソリューションを表示することができます。



# アクセス管理

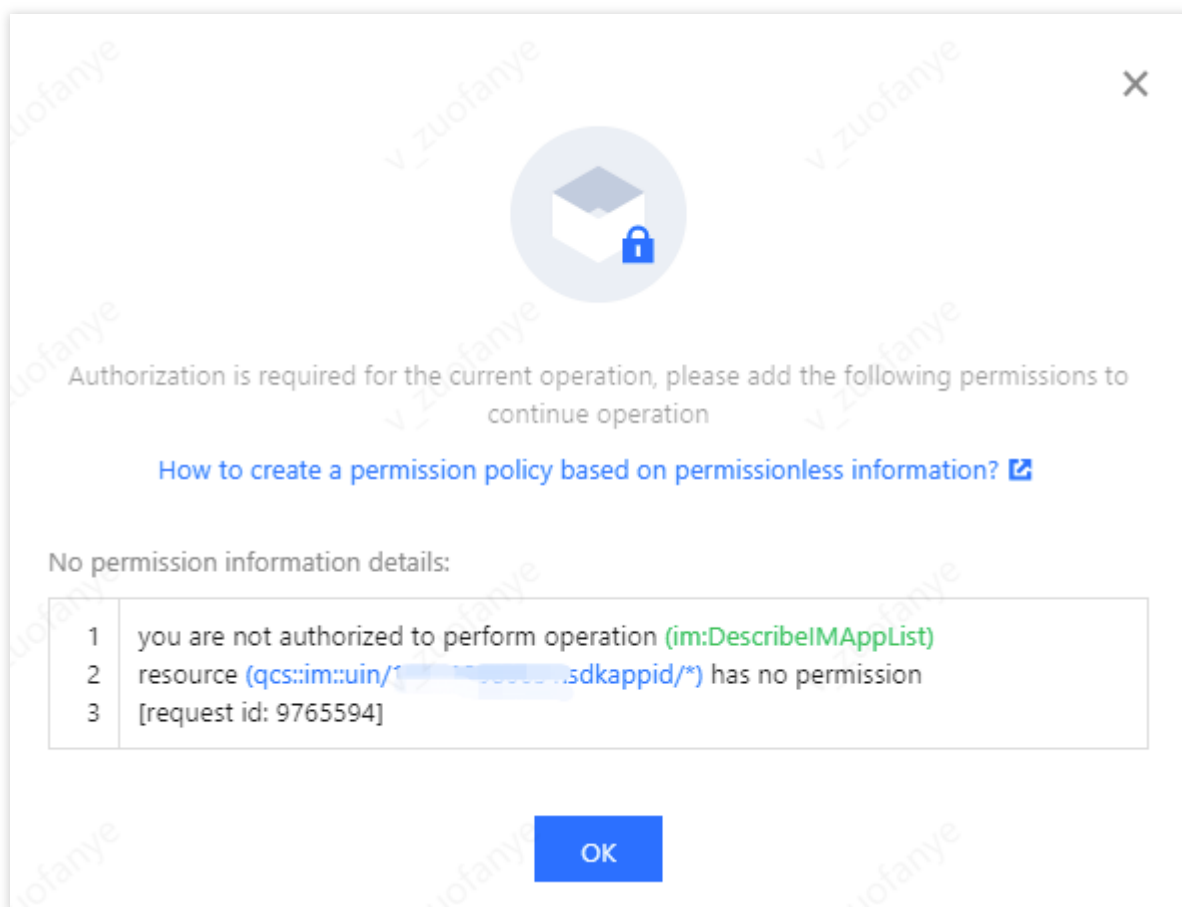
## サブアカウントへのコンソール操作権限の付与

最終更新日：：2024-04-11 17:37:45

### 概要

ここでは、次の問題を迅速に解決するための2つの認証方法について説明します。詳細な操作手順は次のとおりです。さらに複雑な権限設定ポリシーを実行したい場合は、[CAM > カスタムポリシー](#)をご参照ください。

サブアカウントがIMサービスを使用する場合は、下図に示すとおり、ルートアカウントが[アクセスコンソール](#)および設定操作を行うための権限を付与する必要があります。権限を付与しなければ、コンソールアプリケーションリストがアプリケーションを表示できません。

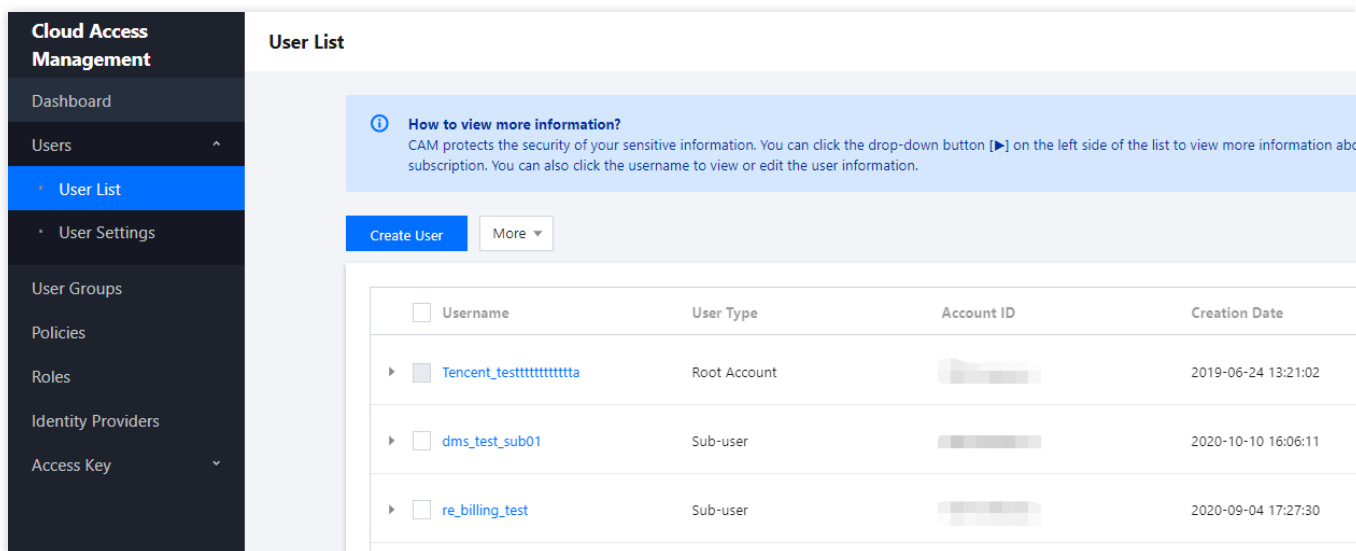


サブアカウントにはログイン認証のタグがありますが、現在のコンソールアプリケーションタグとサブアカウントタグの権限が一致しない場合、サブアカウントが新規作成されたアプリケーションを表示できないことがあります。

## 方法1：グローバル認証の操作手順

### 手順1：ログイン認証

ルートアカウントを使用して、コンソール **Cloud Access Management** > ユーザーリストに進み、サブユーザーの左側にある **認証** ボタンをクリックすると、「ポリシーの関連付け」選択ボックスがポップアップ表示されます。



### 手順2：ポリシーの選択

ポリシーフィルタリングボックスで「インスタントメッセージ」を検索し、認証が必要なオプションをチェックし、**OK**をクリックすれば、認証が完了します。



### Associate Policy

Select Policies (6 Total) 0 selected

✕ 🔍

Policy Name	Policy Type
<input type="checkbox"/> QcloudAVCFullAccess Full read-write access to Instant Messagin...	Preset Policy
<input type="checkbox"/> QcloudIMAGEFullAccess Full read-write access to Image	Preset Policy
<input type="checkbox"/> QcloudIMFGFullAccess Full read-write access to Intelligent Manuf...	Preset Policy
<input type="checkbox"/> QcloudIMReadOnlyAccess Read-only access to Instant Messaging (IM)	Preset Policy
<input type="checkbox"/> QcloudAccessForGSERoleInIMAGEUse	Preset Policy

Press Shift to select multiple items

Confirm Cancel

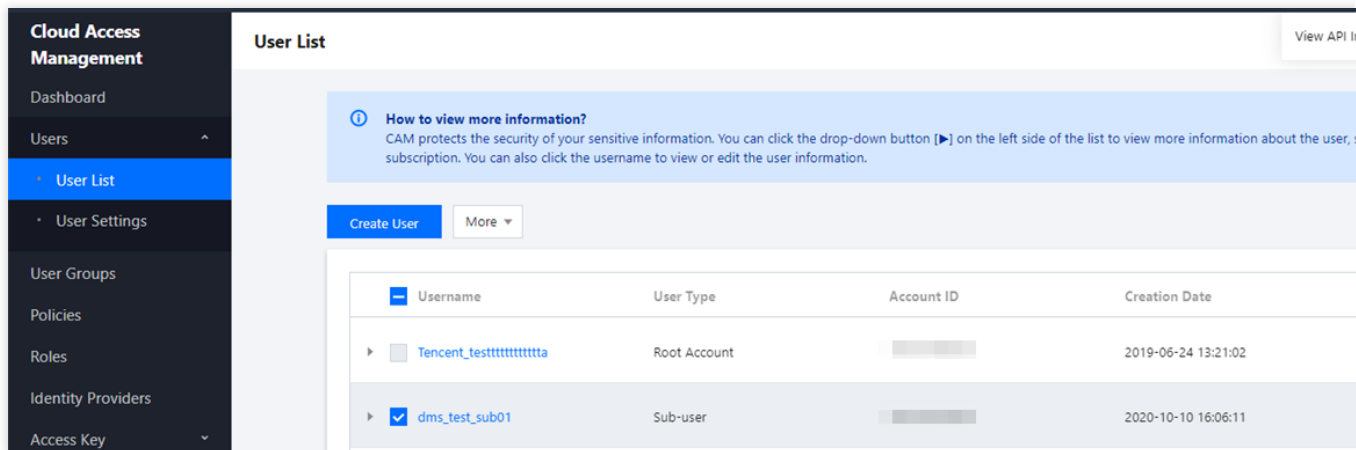
#### 説明：

**読み取りおよび書き込みアクセス権限：**コンソールにアクセスして設定を修正することもできます。

**読み取り専用アクセス権限：**コンソールにアクセスするのみで、他の操作はできません。

#### 手順3：認証の完了

右上隅に「ポリシーの関連付けに成功しました」と表示され、関連付け操作が完了します。



## 方法2：タグに基づく認証の操作手順

この方法はタグを介してサブアカウントを認証管理する必要があるお客様を対象としています。サブアカウントは、認証タグ下のアプリケーションのみにアクセスし操作できます。

### ご注意：

サブアカウントにタグポリシーを割り当てると、サブアカウントはタグがブランクのアプリケーションにアクセスし、操作することができなくなります。サブアカウントがIMコンソールで新規作成したアプリケーションタグがブランクであることから、ルートアカウントはサブアカウントが使用できるように、このアプリケーションタグを認証済みのタグに変更する必要があります。

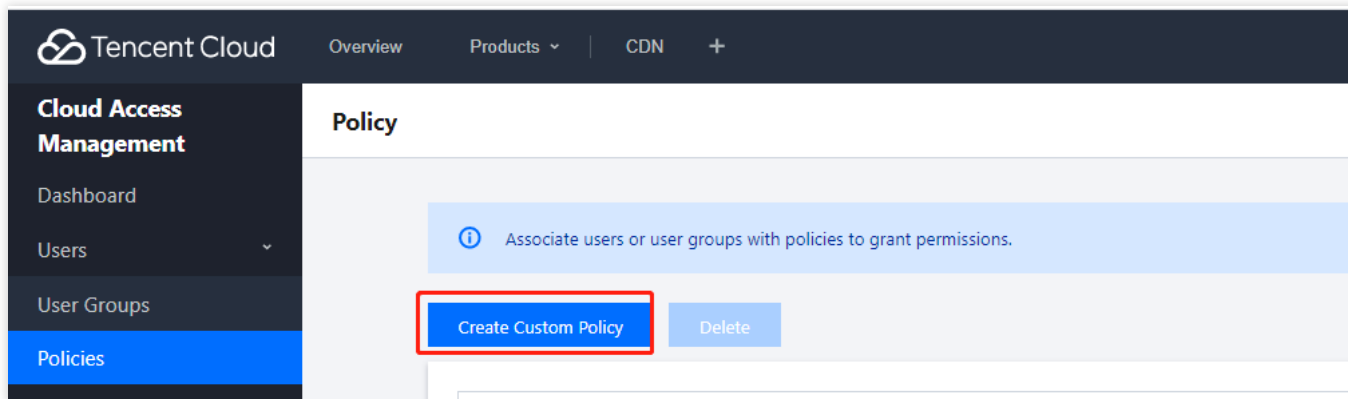
既存アプリケーションをタグでサブアカウントに認証する必要がある場合は、認証するアプリケーションに対応するタグが設定済みであることを確認してください。設定されていない場合、タグを介して認証することはできません。

アプリケーションにタグが設定されていない場合は、IMコンソールの[基本設定](#)ページに移動して設定してください。詳細については、[タグ設定](#)をご参照ください。

または、[タグリスト](#)に進んでアプリケーションをタグにバッチでバインドします。詳細については、[リソースのバインド](#)をご参照ください。

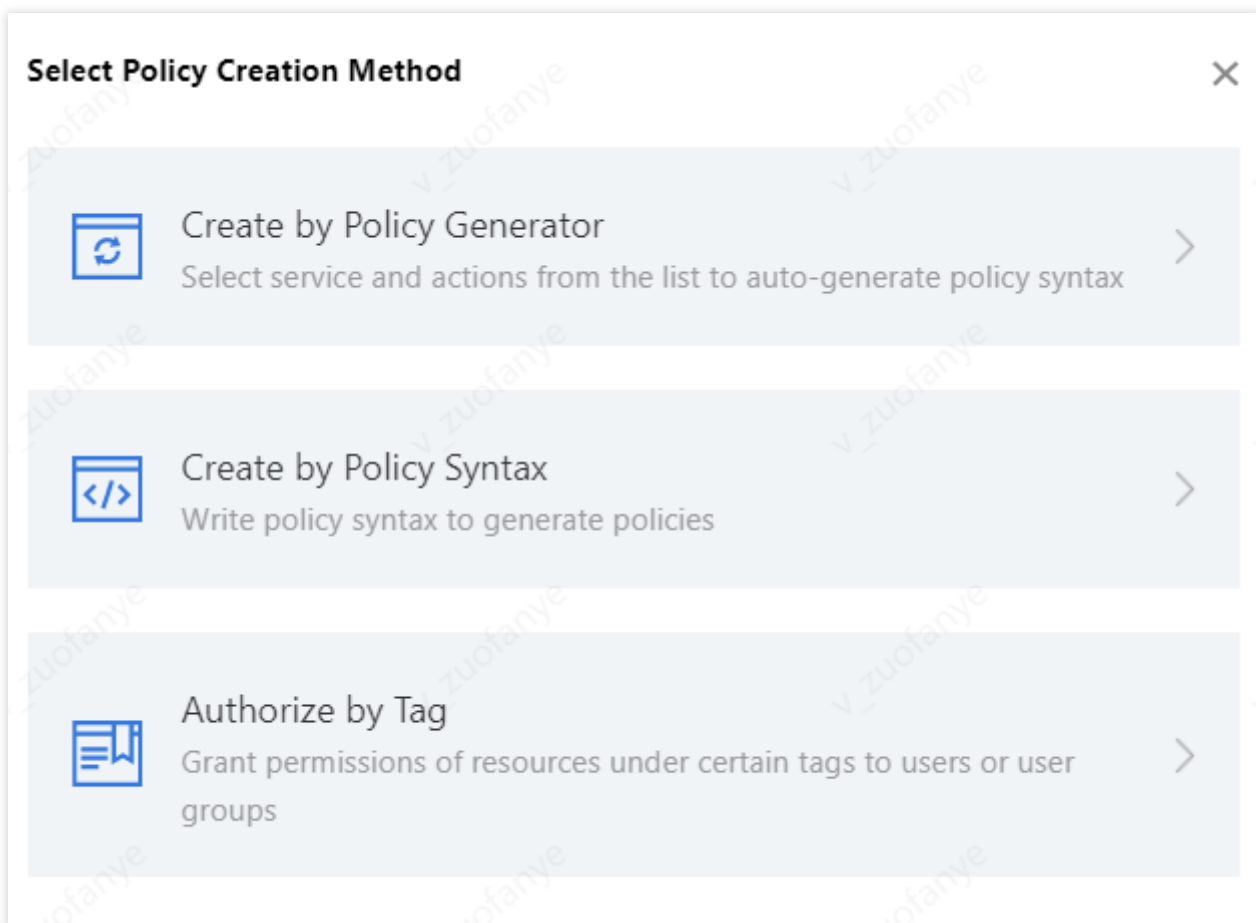
### 手順1：ログイン認証

ルートアカウントを使用して、コンソール[Cloud Access Management](#) > [ポリシー](#)に進み、上部の[カスタマイズの新規作成](#)をクリックすると、「ポリシー作成方式の選択」ボックスがポップアップ表示されます。



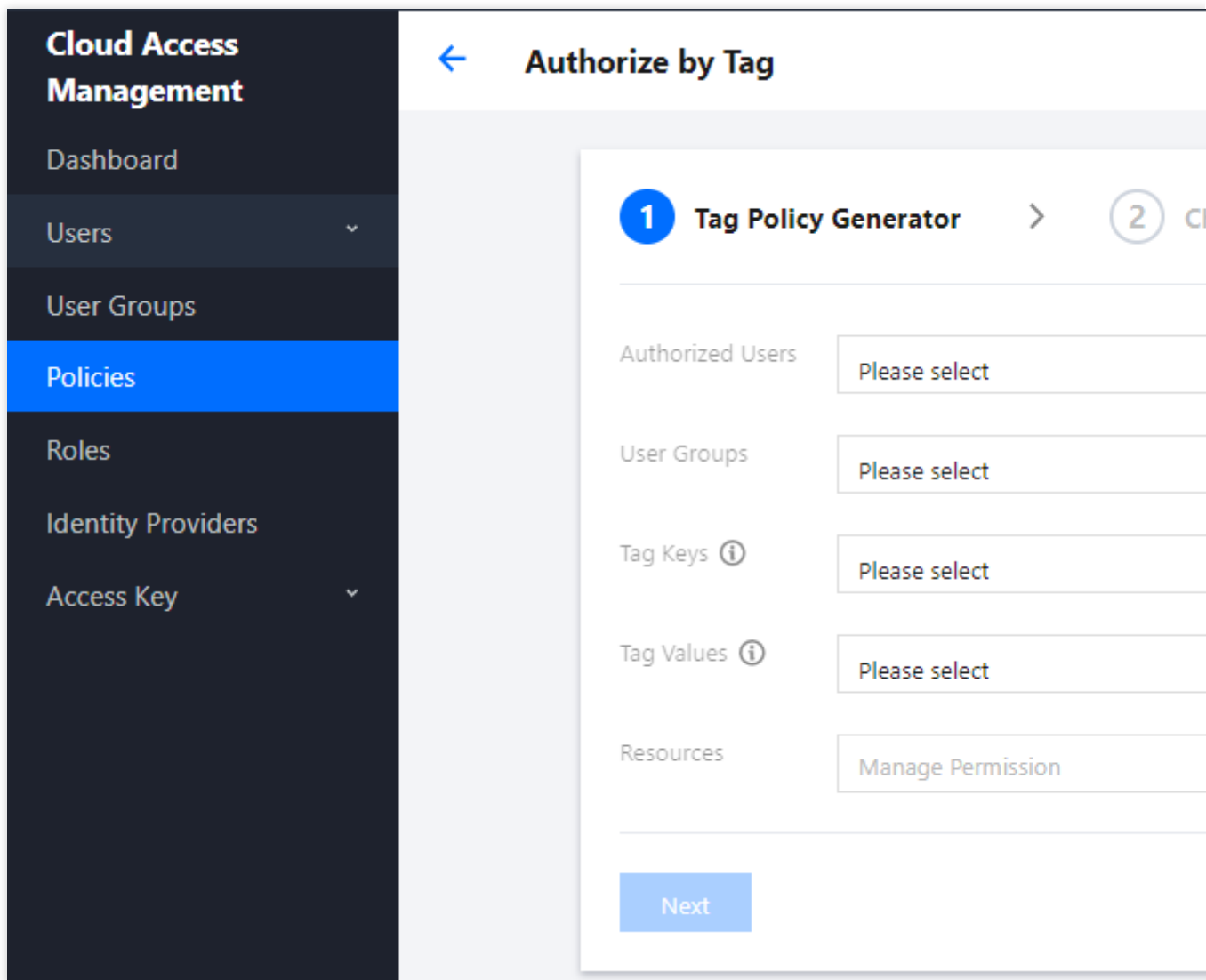
## 手順2：タグの選択

「タグに基づく認証」を選択し、「タグポリシーの生成」に移動します。

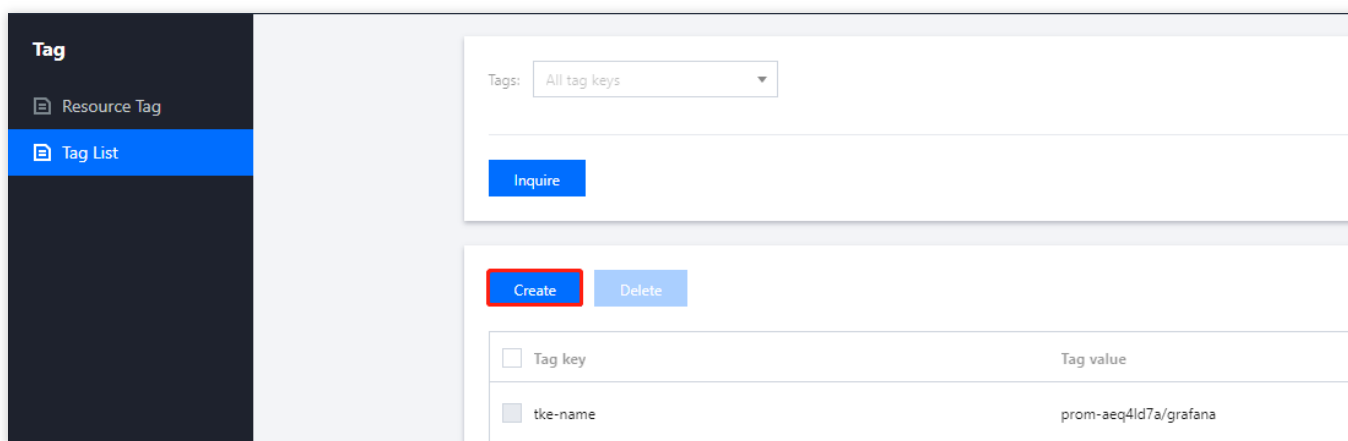


## 手順3：ポリシーの生成

認証が必要なサブアカウント、タグなどの情報を「タグポリシーの生成」に書き込み、次のステップをクリックし、確認画面に移動します。

**説明：**

タグ選択リストが空白の場合は、ルートアカウントがまず [タグコンソール](#) に移動して、タグを新規作成する必要があります。



## 手順4：認証の完了

エラーがないか確認後、完了をクリックし、タグ認証手順を終了します。

The screenshot shows the 'Authorize by Tag' interface in the Tencent Cloud IAM console. The left sidebar contains the navigation menu with 'Policies' selected. The main content area shows the 'Tag Policy Generator' step completed and the 'Check and Finish' step active. The policy name is 'policygen-20210205095508', authorized users are 'Tencent\_testtttttttta', and authorized user groups are 'test2'. The policy content is displayed in a code editor, and the 'Done' button is highlighted with a red box.

**Cloud Access Management**

- Dashboard
- Users
- User Groups
- Policies**
- Roles
- Identity Providers
- Access Key

← **Authorize by Tag**

1 Tag Policy Generator > 2 Check and Finish

Policy Name \*

Authorized Users

Authorized User Groups

**Policy Content**

```
1 {
2   "version": "2.0",
3   "statement": [
4     {
5       "effect": "allow",
6       "action": "*",
7       "resource": "*",
8       "condition": {
9         "for_any_value:string_equal": {
10          "qcs:tag": [
11            "tke-lb-serviceuuid&4663ccfc-bb64"
12          ]
13        }
14      }
15    }
16  ]
17 }
```

# プリセットポリシー

最終更新日：：2024-04-11 17:38:27

## ご注意：

ここでは主に**Instant Messaging (IM)** のCloud Access Management (CAM) 機能関連コンテンツについて紹介します。他製品のCAM関連コンテンツについては、**[CAMサポート製品]**をご参照ください。

(<https://intl.cloud.tencent.com/document/product/598/10588>)。

IMのCAMは、実質的にはサブアカウントをポリシーにバインドするか、またはポリシーをサブアカウントに付与します。開発者は、コンソールのプリセットポリシーを直接使用して、いくつかの簡単な承認操作を行うことができます。複雑な権限付与の操作については、**カスタムポリシー**をご参照ください。

IMは現在、次のようなプリセットポリシーを提供しています。

ポリシー名	ポリシーの説明
QcloudAVCFullAccess	IM完全な読み取り/書き込みアクセス権限
QcloudIMReadOnlyAccess	IM読み取り専用アクセス権限

## プリセットポリシー使用例

### IM権限を持つサブアカウントの作成

- Tencent Cloud **ルートアカウント**として、CAMコンソールの**ユーザーリスト**にアクセスし、**ユーザーの作成**をクリックします。
- 「ユーザーの作成」ページで**カスタム作成**を選択し、「サブユーザーの作成」ページに進みます。

#### 説明：

CAM**サブユーザーのカスタム作成**の操作ガイドに従って、「ユーザー権限の設定」までの手順を完了してください。

- 「ユーザー権限の設定」ページにおいて、次の事項を実施します。

1. プリセットポリシー **Instant Messaging** を検索して、チェックを入れます。

2. **次のステップ**をクリックします。

3. 「情報と権限のチェック」フィールドの下にある**完了**をクリックして、サブユーザーの作成を完了します。成功ページで、サブユーザーのログインリンクとセキュリティ証明書をダウンロードして保管します。そこには、次のような情報が含まれます。

情報	ソース	機能	保存する必要はありますか
ログインリンク	ページにコピー	コンソールにログインする際に便利で、ルートアカウントへの入力の手	いいえ

		順を省略できます	
ユーザー名	セキュリティ証明書CSV ファイル	コンソールにログインするときに 入力します	はい
パスワード	セキュリティ証明書CSV ファイル	コンソールにログインするときに 入力します	はい
SecretId	セキュリティ証明書CSV ファイル	サーバーAPIを呼び出すときに使用 します。詳細については、 <a href="#">アクセス キー</a> をご参照ください	はい
SecretKey	セキュリティ証明書CSV ファイル	サーバーAPIを呼び出すときに使用 します。詳細については、 <a href="#">アクセス キー</a> をご参照ください	はい

4. 前述のログインリンクとセキュリティ証明書を許可された当事者に提供します。許可された当事者は、サブユーザーを使用して、IMコンソールへのアクセスやIMサーバーAPIのリクエストなど、IMでのすべての操作を実行できます。

### 既存のサブアカウントへのIM権限の付与

1. Tencent Cloud [ルートアカウント](#)として、CAMコンソールの[ユーザーリスト](#)にアクセスし、権限を付与したいサブアカウントをクリックします。
2. 「ユーザー詳細」ページの権限フィールドで、[ポリシーの追加](#)をクリックします。サブアカウントの権限が空でない場合は、[ポリシーの関連付け](#)をクリックします。
3. [ポリシーリストからポリシーの関連付けを選択](#)を選択し、プリセットポリシー `Instant Messaging` を検索してチェックを入れます。その後はページの指示に従って、権限付与の手順を完了します。

### サブアカウントのIM権限の解除

1. Tencent Cloud [ルートアカウント](#)として、CAMコンソールの[ユーザーリスト](#)にアクセスし、権限を解除したいサブアカウントをクリックします。
2. 「ユーザー詳細」ページの権限フィールドでプリセットポリシー `Instant Messaging` を見つけ、右側の[解除](#)をクリックします。ページの指示に従って、権限の解除の手順を完了します。

# カスタムポリシー

最終更新日：2024-04-11 17:39:02

## ご注意：

ここでは主に**Instant Messaging (IM)** のCloud Access Management (CAM) 機能関連コンテンツについて紹介します。他製品のCAM関連コンテンツについては、**[CAMサポート製品]**をご参照ください。

(<https://intl.cloud.tencent.com/document/product/598/10588>)。

IMのCAMにおいて**プリセットポリシー**を使用して権限付与を行うのは簡便ではありますが、プリセットポリシーは権限制御の粒度が比較的粗く、IMアプリケーションや**Tencent Cloud API**の粒度まで細分化することができません。きめ細かいアクセス制御機能を必要とする場合は、カスタムポリシーを作成する必要があります。

## カスタムポリシーの作成方法

カスタムポリシーを作成するには、さまざまな方法があります。次の表に、それぞれの方法の比較を示します。具体的な操作手順については、以下の文章をご参照ください。

エントリーの作成	作成方法	効果(Effect)	リソース(Resource)	操作(Action)	柔軟性	難易度
<a href="#">CAMコンソール</a>	ポリシージェネレーター	手動選択	構文の記述	手動選択	中	中
<a href="#">CAMコンソール</a>	ポリシー構文	構文の記述	構文の記述	構文の記述	高	高
CAMサーバーAPI	<a href="#">CreatePolicy</a>	構文の記述	構文の記述	構文の記述	高	高

## 説明：

IMは、製品の機能またはアイテムに応じたカスタムポリシーの作成は\_\_サポートしていません\_\_。

\_\_手動選択\_\_とは、ユーザーがコンソールに表示される候補リストからオブジェクトを選択することを意味します。

\_\_構文の記述\_\_は [アクセスポリシー構文](#) によってオブジェクトを記述します。

## アクセスポリシー構文

### リソース構文の記述



上記のように、IM権限管理のリソース粒度はアプリケーションです。アプリケーションのポリシー構文の記述法は、[CAMリソース記述法](#)に従います。以下の例では、開発者のルートアカウントIDは12345678で、開発者は、SDKAppIDがそれぞれ1400000000、1400000001および1400000002のアプリケーションを3つ作成しています。IMのすべてのアプリケーションのポリシー構文の記述

```
"resource": [  
  "qcs::im::uin/12345678: sdkappid/*"  
]
```

単一アプリケーションのポリシー構文の記述

```
"resource": [  
  "qcs::im::uin/12345678: sdkappid/1400000001"  
]
```

複数アプリケーションのポリシー構文の記述

```
"resource": [  
  "qcs::im::uin/12345678: sdkappid/1400000000",  
  "qcs::im::uin/12345678: sdkappid/1400000001"  
]
```

## 操作構文の記述

上記のとおり、TRTCの権限管理の操作粒度はTencent Cloud APIです。次の例では、`DescribeAppStatList`（アプリケーションリストの取得）、`DescribeSdkAppInfo`（アプリケーション情報の取得）などのTencent Cloud APIを例として取り上げています。

IMのすべてのTencent Cloud APIのポリシー構文の記述

```
"action": [  
  "name/im:*"  
]
```

単一のTencentCloud APIを操作する際のポリシー構文の記述

```
"action": [  
  "name/im:DescribeAppStatList"  
]
```

複数のTencentCloud APIを操作する際のポリシー構文の記述

```
"action": [  
  "name/im:DescribeAppStatList",  
  "name/im:DescribeTrtcAppAndAccountInfo"  
]
```

# カスタムポリシーのユースケース

## ポリシージェネレーターの使用

次の例では、カスタムポリシーを作成しています。このポリシーは、1400000001に対するIMアプリケーションのあらゆる操作を許可します。

1. Tencent Cloud [ルートアカウント](#)として、CAMコンソールの [ポリシー](#) にアクセスし、[カスタムポリシーの新規作成](#) をクリックします。
2. [ポリシージェネレーターで作成](#) を選択して、ポリシー作成ページに進みます。
3. サービスと操作を選択します。

**効果(Effect)**設定項目は、**許可**を選択します。

**サービス(Service)**設定項目は、**IM**を選択します。

**操作(Action)**設定項目は、すべての項目にチェックを入れます。

**リソース(Resource)**設定項目は、[リソース構文の記述](#)に従っ

て `qcs::im::uin/12345678:_SDKAPPID/1400000001` と入力します。

**条件(Condition)**設定項目は設定不要です。

**ステートメントの追加**をクリックすると、ページの一番下に「IMアプリケーション1400000001に対するあらゆる操作を許可する」というステートメントが表示されます。

4. 同じページに別のステートメントを追加し続けます。

**効果(Effect)**設定項目は、**拒否**を選択します。

**サービス(Service)**設定項目は、**IM**を選択します。

**操作(Action)**設定項目は、`RemoveUser`（検索機能で速やかに見つけられます）にチェックを入れます。

**リソース(Resource)**設定項目は、[リソース構文の記述](#)に従っ

て `qcs::im::uin/12345678:_SDKAPPID/1400000001` と入力します。

**条件(Condition)**設定項目は設定不要です。

**ステートメントの追加**をクリックすると、ページの一番下に「IMアプリケーション1400000001に対する `RemoveUser` 操作を拒否する」というステートメントが表示されます。

5. 次のステップをクリックし、必要に応じてポリシー名を変更します（または変更しなくてもかまいません）。
6. **完了**をクリックし、カスタムポリシーの作成を完了します。

その後、このポリシーを他のサブアカウントに付与する方法は、[IMの読み取り/書き込みアクセス権限を既存のサブアカウントに付与する](#)と同様です。

## ポリシー構文の使用

次の例では、カスタムポリシーを作成します。このポリシーは、1400000001と1400000002という2つのIMアプリケーションに対するあらゆる操作を許可します。

1. Tencent Cloud [ルートアカウント](#)として、CAMコンソールの [ポリシー](#) にアクセスし、[カスタムポリシーの新規作成](#) をクリックします。
2. [ポリシー構文で作成](#) を選択し、ポリシー作成ページに進みます。

3. テンプレートタイプの**選択**ボックスで**空白テンプレート**を選択します。

**説明：**

ポリシーテンプレートは、新しいポリシーが既存のポリシー（プリセットポリシーまたはカスタムポリシー）をコピーしてから、それをベースとして調整が行われることを意味します。実際の使用においては、開発者は状況に応じて適切なポリシーテンプレートを選択することで、ポリシー内容の難しい入力と作業の負荷を軽減することができます。

4. **次のステップ**をクリックし、必要に応じてポリシー名を変更します（または変更しなくてもかまいません）。

5. **ポリシー内容の編集**ボックスにポリシー内容を入力します。この例のポリシーの内容は次のとおりです。

```
{
  "version": "2.0",
  "statement": [
    {
      "effect": "allow",
      "action": [
        "name/im:*"
      ],
      "resource": [
        "qcs::im::uin/12345678:sdkappid/1400000001",
        "qcs::im::uin/12345678:sdkappid/1400000002"
      ]
    },
    {
      "effect": "deny",
      "action": [
        "name/im:RemoveUser"
      ],
      "resource": [
        "qcs::im::uin/12345678:sdkappid/1400000001"
      ]
    }
  ]
}
```

**説明：**

ポリシー内容は、[CAMポリシー構文ロジック](#)に従う必要があります。そのうちリソースと操作の2つの要素の構文については、上記の[リソース構文の記述](#)と[操作構文の記述](#)をご参照ください。

6. **ポリシーの作成**をクリックして、カスタムポリシーの作成を完了します。

その後、このポリシーを他のサブアカウントに付与する方法は、[IMの読み取り/書き込みアクセス権限を既存のサブアカウントに付与する](#)と同様です。

## CAMが提供するサーバー側APIの使用

ほとんどの開発者にとって、コンソールで権限管理操作が完了すれば、ビジネスニーズが満たされたことになります。ただし、権限管理機能を自動化・システム化する必要がある場合は、サーバー側APIを使用することができます。

ポリシー関連のサーバー側APIはCAMに属します。詳細については、[CAM公式ウェブサイトドキュメント](#)をご参照ください。ここでは、いくつかの主なインターフェースだけをリストアップしています。

[ポリシーの作成](#)

[ポリシーの削除](#)

[ユーザーへのポリシーのバインド](#)

[ユーザーにバインドしたポリシーの解除](#)